

# アルトナー 55年の歩み



2017年9月28日

<http://www.artner.co.jp/>

株式会社 **アルトナー**



## I 会社概要

## II 沿革

## III 第56期('18年1月期)第2四半期決算概要

## IV 第56期('18年1月期)業績予想、配当予想

## V 参考資料

|      |                                                       |
|------|-------------------------------------------------------|
| 名称   | 株式会社アルトナー（英訳名：ARTNER CO.,LTD.）                        |
| 設立   | 1962年9月18日 <b>設立55周年</b>                              |
| 代表者  | 代表取締役社長 関口相三                                          |
| 株式   | 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)（証券コード：2163）                     |
| 資本金  | 2億3,828万4,320円（2017年7月31日現在）                          |
| 本社   | 東京本社、大阪本社                                             |
| 事業拠点 | 横浜、宇都宮、大阪、名古屋                                         |
| 事業内容 | 1)機械設計 2)電気・電子設計 3)ソフトウェア開発<br>上記分野の設計製作及び設計技術周辺業務    |
| 社員数  | 827名（2017年7月31日現在）                                    |
| 許可番号 | 労働者派遣事業（常用型、登録型）（派27－020513）<br>有料職業紹介事業（27－ユ－020355） |

### ◆社是

精神の追求    智識の追求    創造の追求

### ◆経営理念

「 エンジニアサポートカンパニー 」

— 私達は技術者の夢をサポートします —

人をつくり 技術を育み 技術者を通じ社会に貢献し  
全従業員の幸福と会社の反映を目指します

※「幸福」には、人から与えられるのではなく、自らが進んで行動することで  
「しあわせ」になるという思い、「反映」には、相手を照らすことで自らにも  
反射し互いに輝くという思いを込めております。

### ◆社名の由来

ARTNER

ART  
|  
PARTNER

アルトナーという社名には、  
・技術を大きく広域に捉え、アートとして捉える。  
・お客様のパートナーとしてあり続ける。  
この2つの意味が込められています。



### ◆主な出身学部・大学院、経歴

- ・工学部、理工学部、理学部、情報工学部などの大学生（理系）、大学院生（理系）
- ・業務経験のある中途入社者

### ◆求める人物像

- ・短期間でお客様と馴染んで業務を行う必要があるため、コミュニケーション能力を重視。

### ◆主な手法

- ・全国の理工系大学の就職支援担当者・教授からの人材紹介
- ・アルトナーの技術者が出身大学を訪問し、後輩の学生に体験談や会社の充実度を伝える
- ・求人Webサイトでの情報掲載
- ・大学内外でのセミナー開催 等



### ◆製造業のバリューチェーン



商品企画

設計開発



調達購買

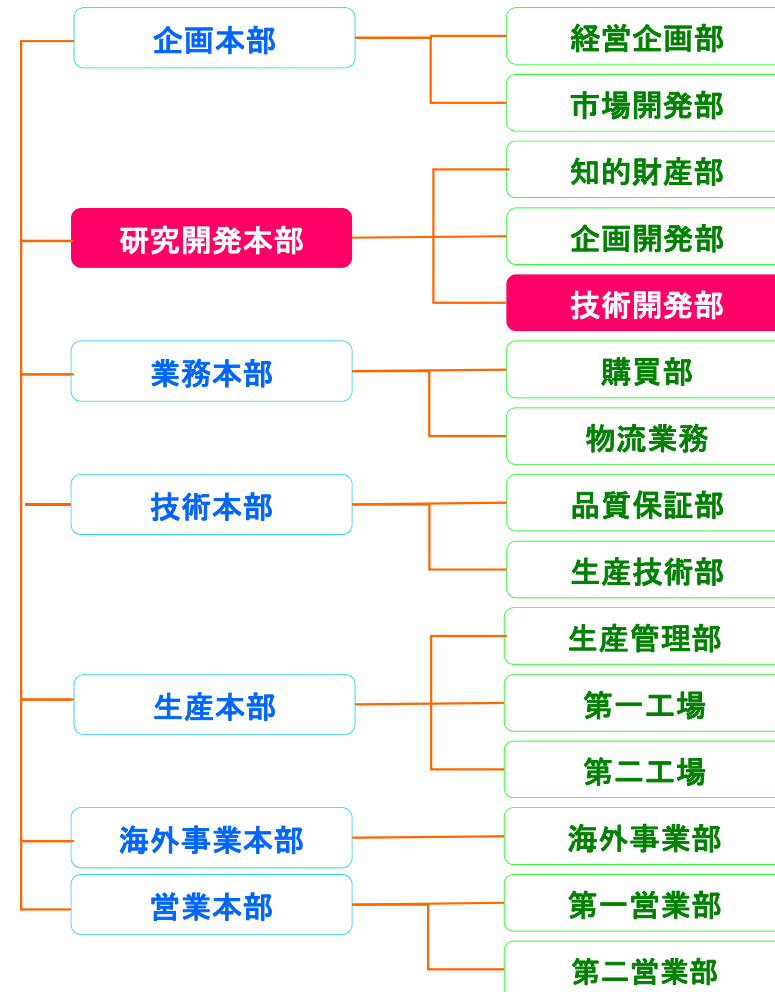
品質管理

生産



販売

### ◆製造メーカーの組織図(例)



製造メーカーに対して**設計・開発**に特化した専門的技術サービスを提供



2次元CAD・3次元CADを使用し  
自動車や家電メーカーなどで  
設計・開発業務を行う。



メーカーの製品において、  
心臓部となる回路基盤の設計や、  
電子系の信頼性評価業務を行う。

ハードの動作制御の開発、  
システム並びにアプリケーション  
ソフトウェアの開発などを行う。

# ■成長する製品・システムに対する当社の技術サービス提供事例

## エコカー

エコカー充電器の開発業務

機械設計  
開発

リチウムイオン電池の開発業務

機械設計  
開発

電気・電子  
設計開発

インバーターの評価業務

駆動用モーターの開発業務

機械設計  
開発

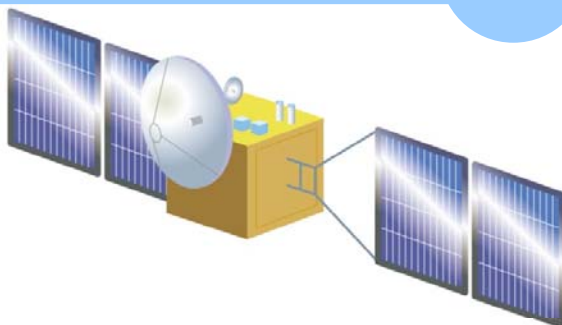
ブレーキ制御システムの開発・評価業務

ソフトウェア  
開発

## 人工衛星

人工衛星に関連する検査装置の開発業務

電気・電子  
設計開発



## スマートフォン

基板の試作・評価・解析業務

電気・電子  
設計開発



## 太陽光蓄電システム

エネルギーシステムの開発業務

ソフトウェア  
開発



<http://www.artner.co.jp/>

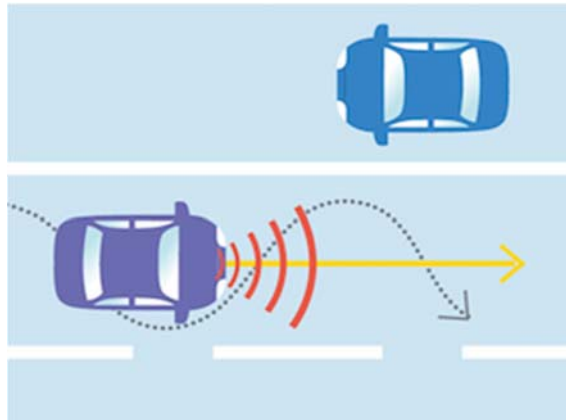
## ◆駐車支援システム



### 電気・電子設計開発

- ・自動ブレーキ、アクセル制御の開発プロジェクトの評価計画立案。
- ・テストコースでの走行評価。

## ◆レーンキープアシスト



### 電気・電子設計開発

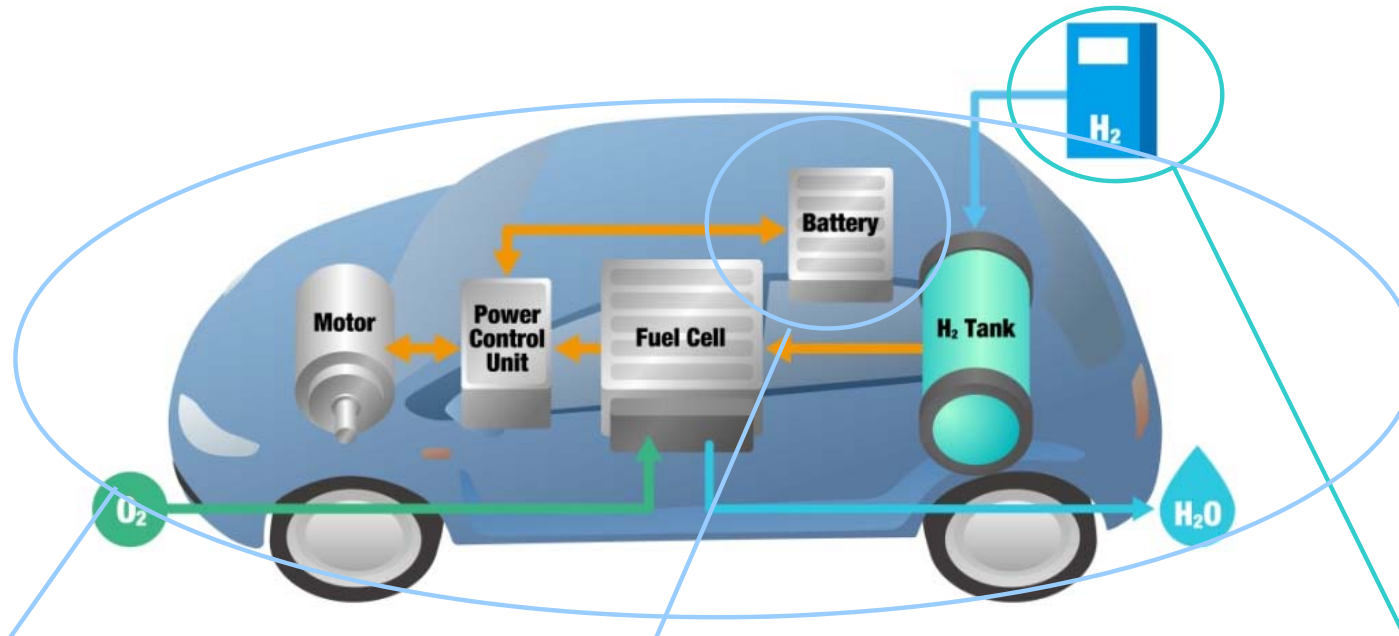
- ・ステアリング補助、運転負荷軽減の制御ソフトウェア設計書作成、テスト検証。

## ◆安全運転支援システム



### ソフトウェア開発

- ・交通情報通信、車々間通信の先行研究開発。
- ・仕様等を検討し、各種プログラムの開発。



### 電気・電子設計開発

- ・燃料電池自動車の実車におけるハード・ソフトウェアの仕様確認及び、基本性能の確認・解析等。

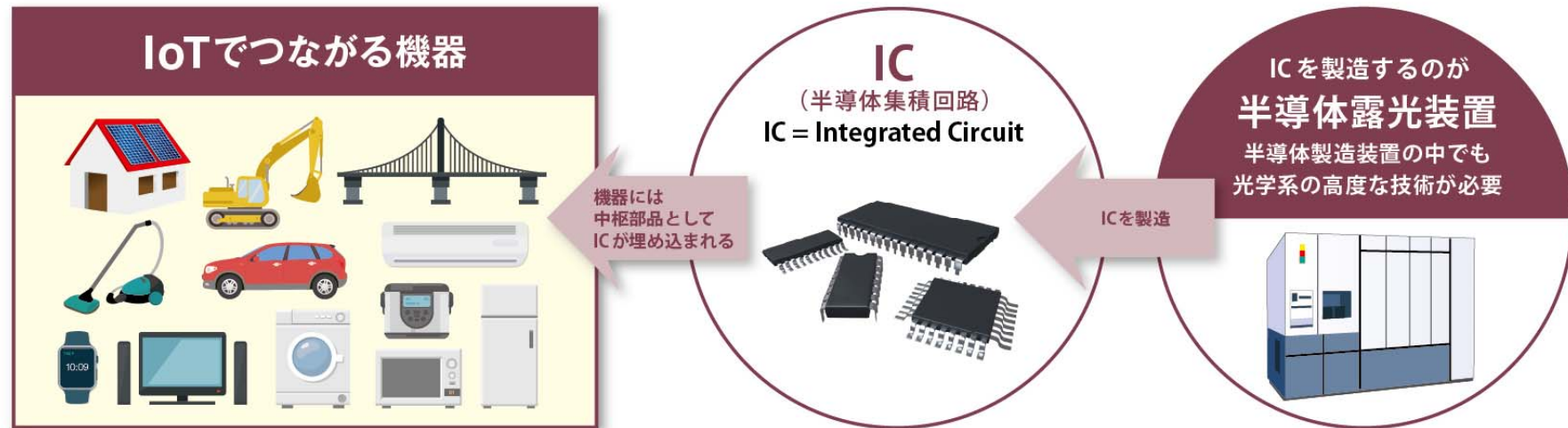
### 電気・電子設計開発

- ・自動車用燃料電池の設計開発における試作、評価計画の立案、実験評価、レポート作成。

### ソフトウェア開発

- ・水素ステーション設計開発における、ソフトウェア設計及びシステムテスト。





### 機械設計開発

- ・温調機筐体、  
温調機ユニットに  
付随する配管、  
配線中継ユニット等  
の構想仕様、及び、  
基本設計。

### 電気・電子設計開発

- ・レンズコントロール  
システムに使用する  
制御ユニット、  
制御基板の  
設計仕様書の作成。

### ソフトウェア開発

- ・計測データを基に、  
露光精度を補正  
するソフトウェアの  
構想仕様、及び、  
基本設計。

◆電気機器

オムロン、キヤノン、東芝、  
パナソニック、富士電機、矢崎部品、他

◆輸送用機器

トヨタ自動車、日産自動車、  
SUBARU、本田技術研究所、他

◆精密機器

島津製作所、テルモ、ニコン、他

◆機械

小松製作所、ジェイテクト、瑞光、他

◆情報・通信

日立超LSIシステムズ、他

※株式一部・二部上場企業  
及び優良中堅企業 取引実績約400社

| '17年1月期 |                  |            |
|---------|------------------|------------|
| 1       | 本田技術研究所          |            |
| 2       | ニコン              |            |
| 3       | パナソニック           |            |
| 4       | テルモ              |            |
| 5       | 住友電気工業           |            |
| 6       | 矢崎部品             |            |
| 7       | ダイキンレクザムエレクトロニクス |            |
| 8       | 日立超LSIシステムズ      |            |
| 9       | 東邦車輛             |            |
| 10      | 富士電機             |            |
|         | 実績<br>(千円)       | 百分比<br>(%) |
| 上位10社 計 | 2,500,519        | 48.7       |
| その他 計   | 2,636,962        | 51.3       |
| 合計 計    | 5,137,481        | 100.0      |

※敬称略

※「その他」売上除く

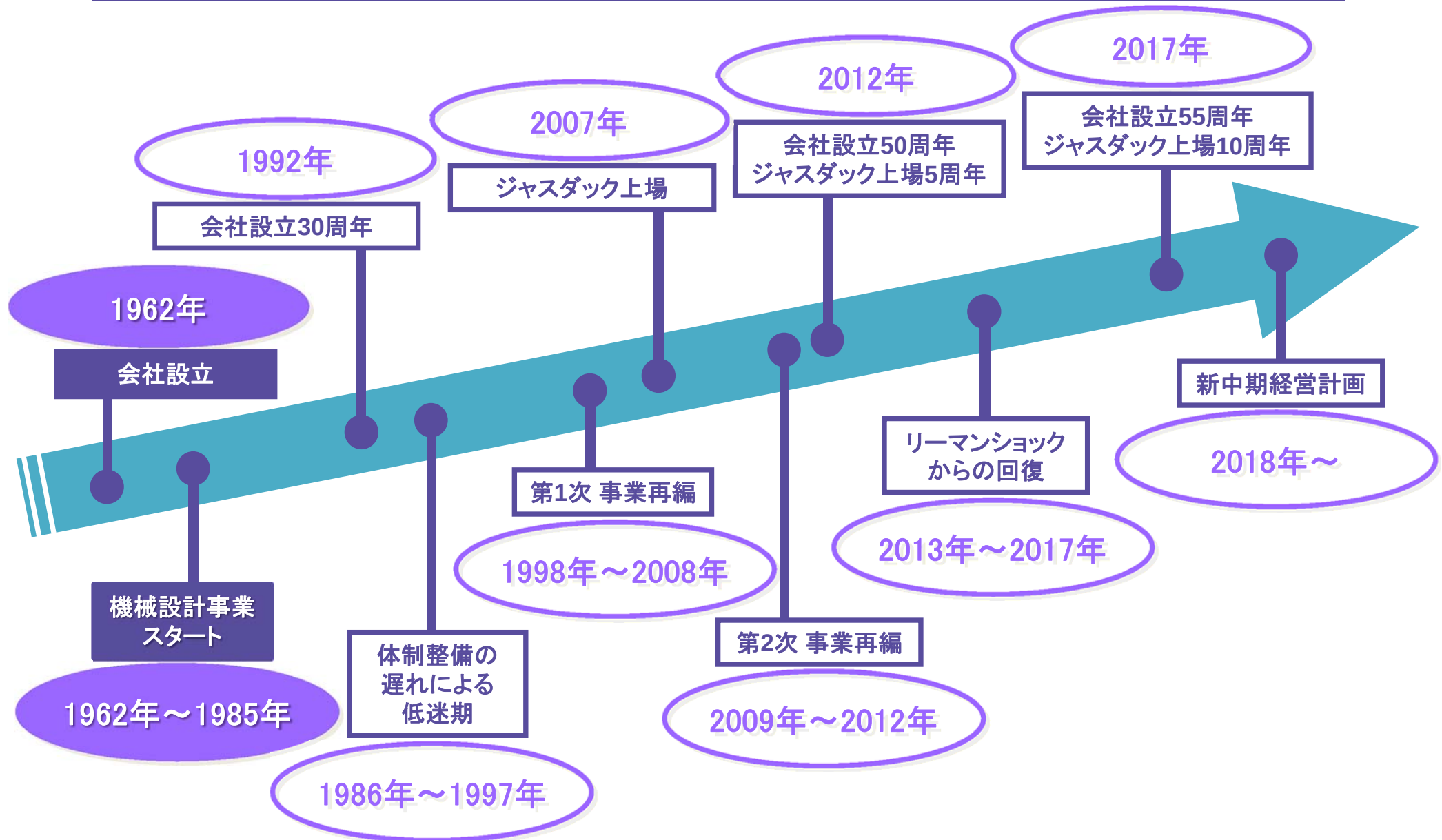
## I 会社概要

## → II 沿革

## III 第56期（'18年1月期）第2四半期決算概要

## IV 第56期（'18年1月期）業績予想、配当予想

## V 参考資料



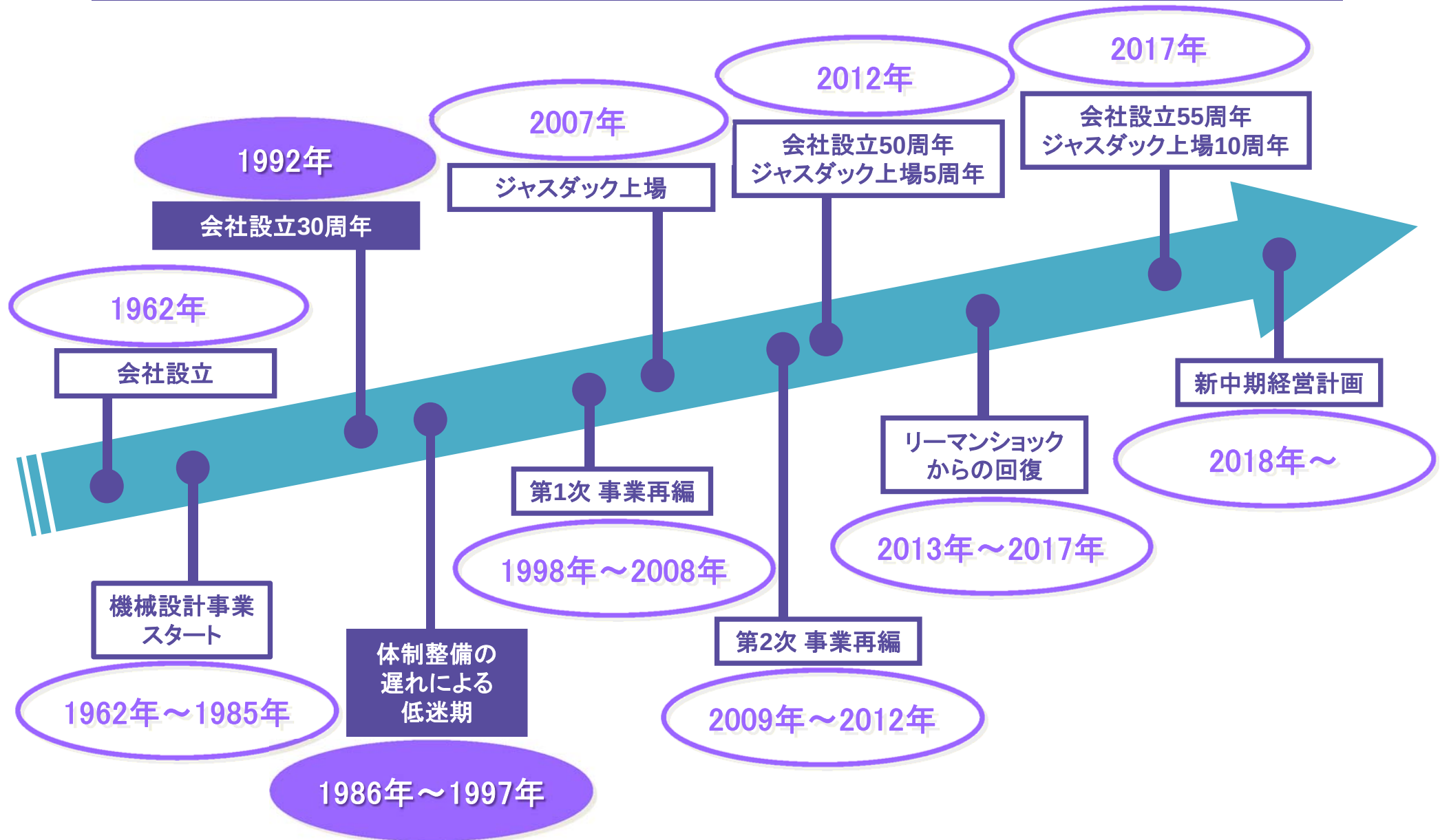


- 1953年 有限会社関口興業社 創業
- 1962年9月 有限会社関口興業社の子会社として、  
株式会社大阪技術センターを設立  
代表取締役社長 関口 登 就任
- 1973年 第1次オイルショック  
1979年 第2次オイルショック
- 1984年4月 代表取締役社長 関口 登 退任  
代表取締役社長 丸橋 嗣郎 就任



- ・阪神工業地帯を中心とする取引先(川崎重工業、久保田鉄工、神戸製鋼、新明和工業、日新製鋼、三菱重工業、等)にて、順調に業容拡大
- ・受注事業から、派遣事業に徐々に移行。

1986年1月期 売上高13億円 経常利益3,600万円



1986年 労働者派遣法 施行

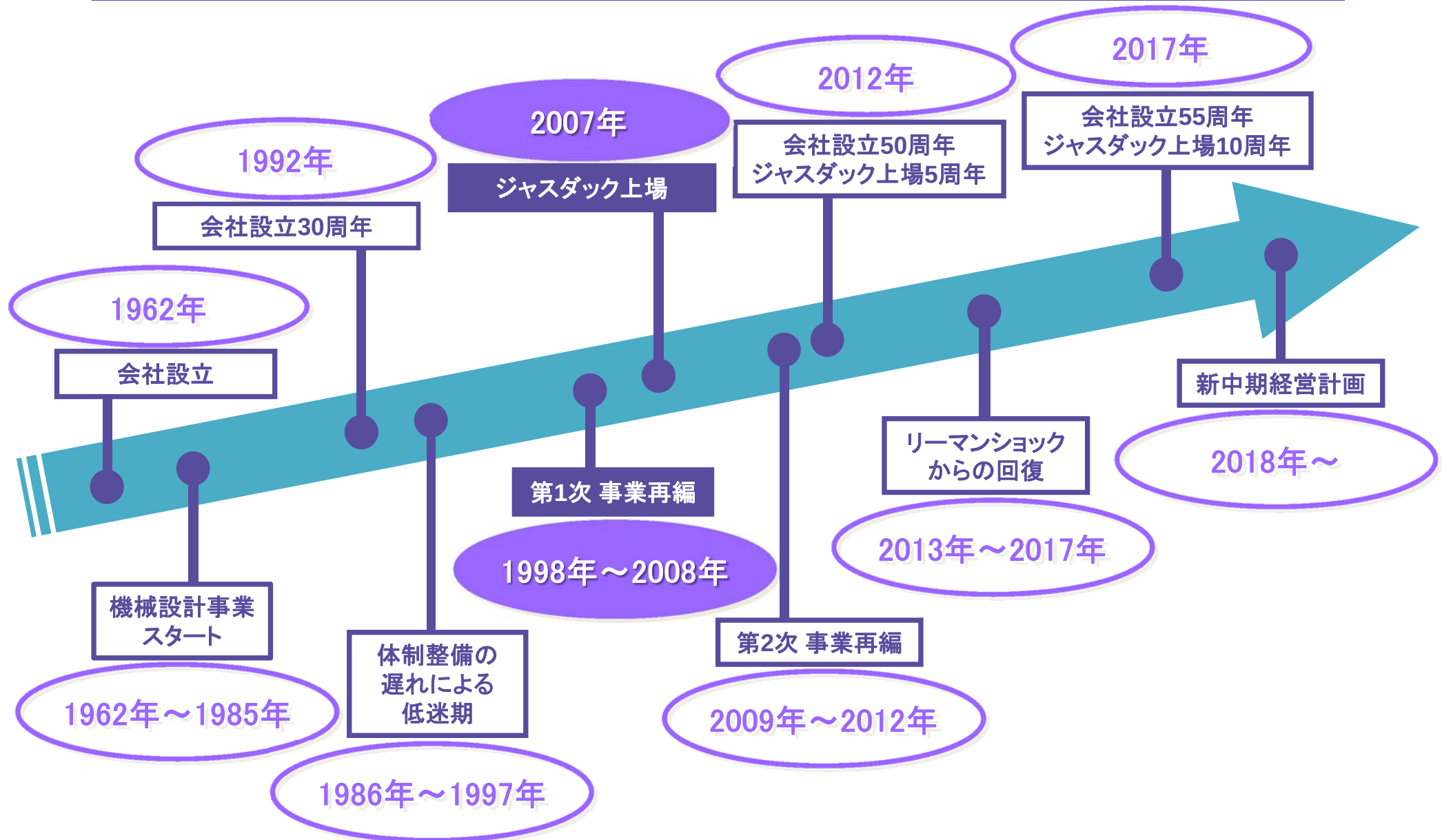
1987年4月 代表取締役社長 関口優 就任  
代表取締役社長 丸橋 嗣郎 退任  
取締役会長 丸橋 嗣郎 就任

1989年4月 関東地区へ進出のため、  
関東事業部を東京都品川区に開設

1992年 株式会社大阪技術センター30周年

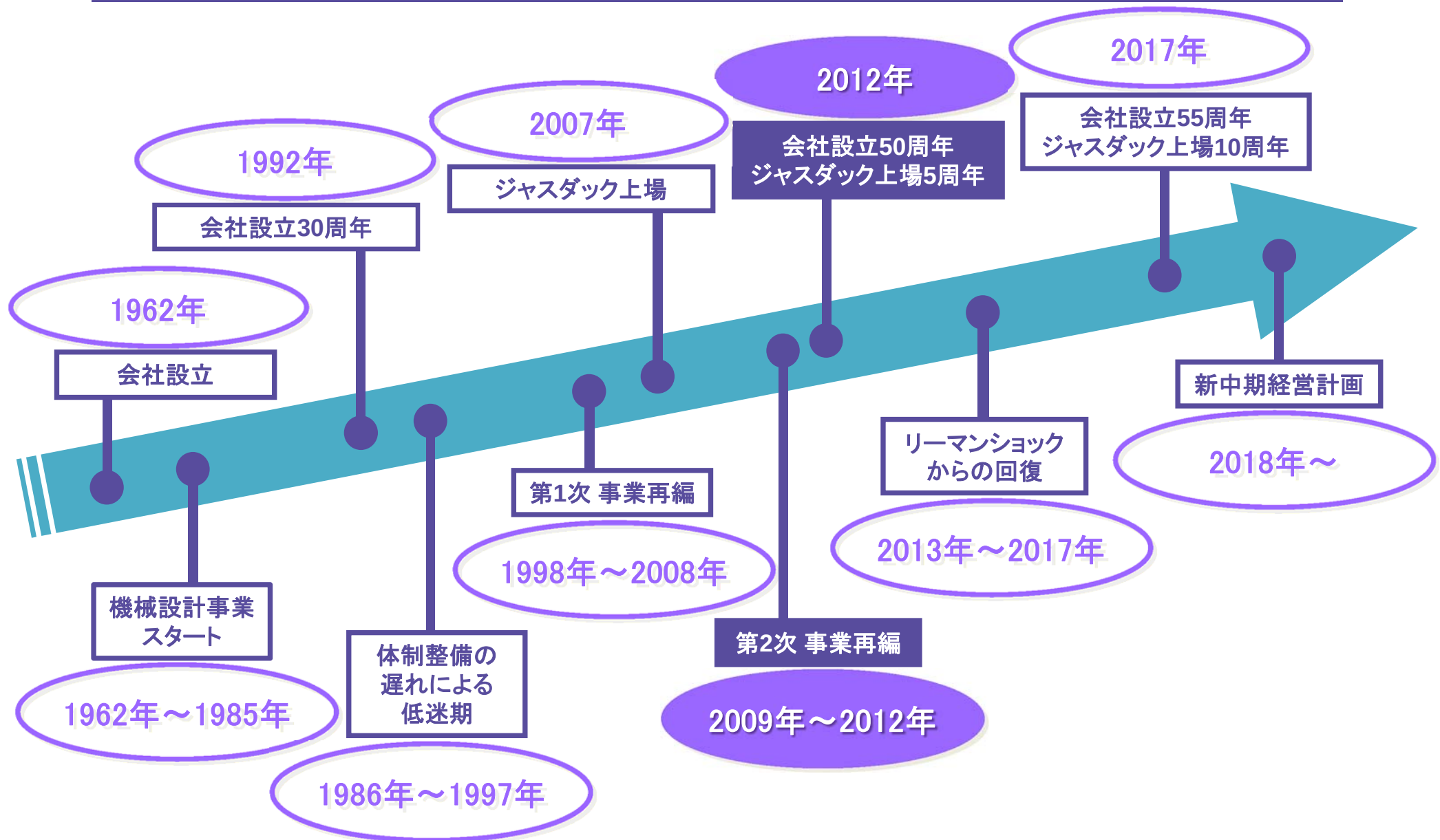


1998年1月期 売上高20億1千万円 経常利益1億3千万円



- 1998年4月 社名を株式会社アルトナーに変更
- 2000年 アルトナー再生5ヵ年計画  
請負設計事業、技術開発事業を休止。  
技術者派遣事業に絞って人的資源を集中。
- 2001年4月 中部地区へ進出のため、中部事業所を名古屋市中区に開設
- 2002年2月 代表取締役社長 関口 優 退任  
代表取締役社長 関口 相三 就任
- 2004年2月～2006年2月 拠点開設  
(本社)大阪、東京 (営業)宇都宮、横浜 (研修)大阪、東京、名古屋  
(採用)大阪、広島、福岡、東京、横浜、仙台
- 2007年10月 JASDAQ市場上場(現、東京証券取引所JASDAQ市場)
- 2008年9月 リーマン・ショック発生

2009年1月期 売上高52億9千万円 経常利益3億5千万円



2010年1月期 売上高33億円 経常損失5億2千万円 ……大幅赤字に転落

2009年4月 新卒技術者 127名 入社

2010年4月 新卒技術者 147名 入社

2010年4月 新卒技術者の教育研修を集中管理する  
ラーニングセンターを大阪府吹田市に開設

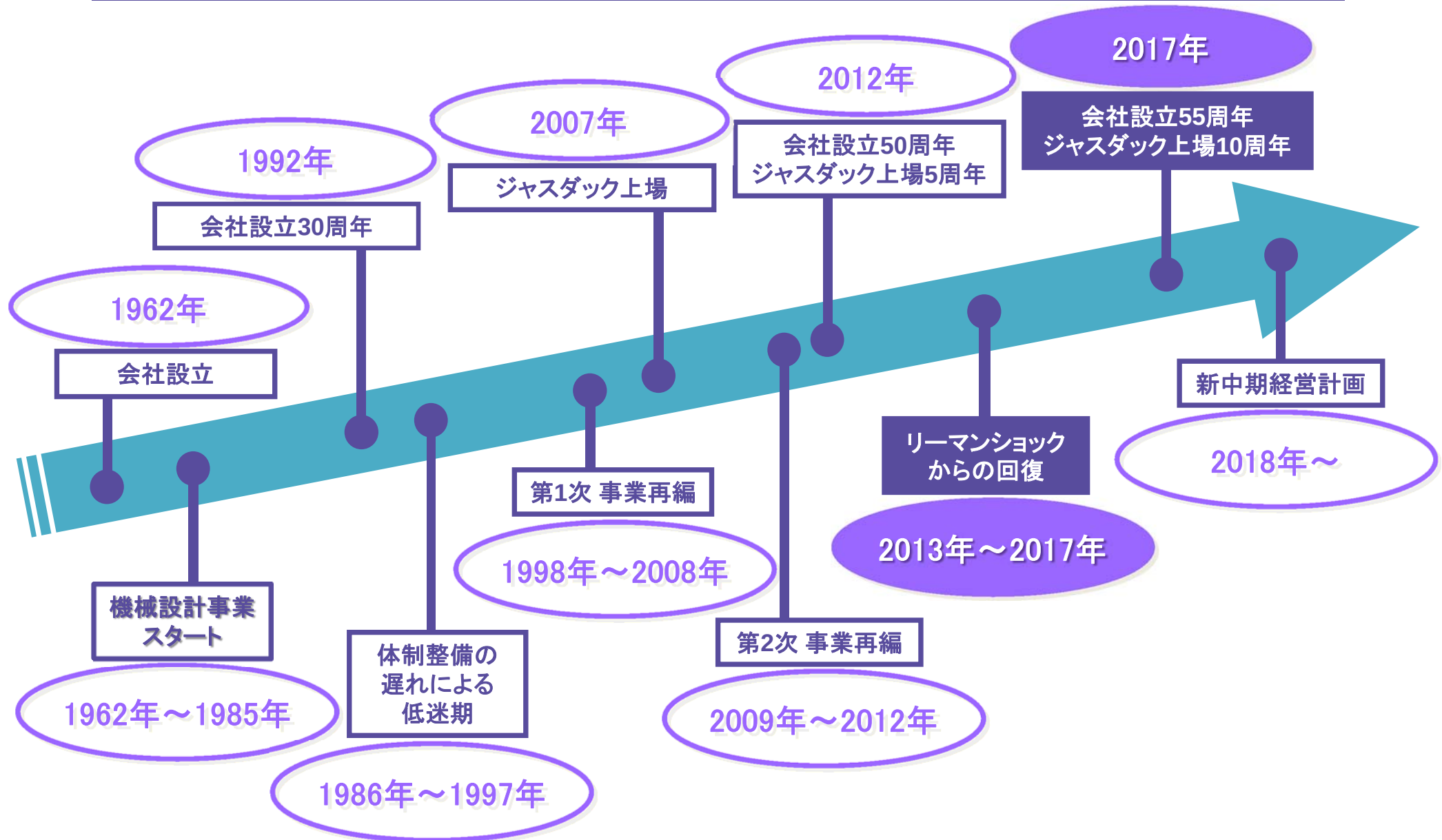
2011年 エンジニア事業本部(宇都宮、横浜、名古屋、大阪)と、  
ハイパーアルトナー事業部に、組織再編。

2012年9月 設立50周年

2012年10月 JASDAQ上場5周年

2013年1月期 売上高40億2千万円 経常利益2億9千万円





2013年2月 新中期5カ年経営計画 開始

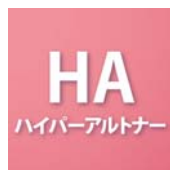
2013年3月 4事業部制(HA事業部門、EG事業部門、EA事業部門、  
HR事業部門)を導入、推進

2017年9月 設立55周年

2017年10月 JASDAQ上場10周年

2018年1月期(業績予想) 売上高55億6千万円 経常利益6億2千万円

顧客企業と技術者ニーズをマッチングさせ、中期経営計画を推進するため、4事業部門を設置。



**ハイパーアルトナー事業部門**  
成果報酬型のエキスパートによるハイエンド業務対応



**エンジニア事業部門**  
地域限定希望者によるハイエンド～ローエンド業務対応



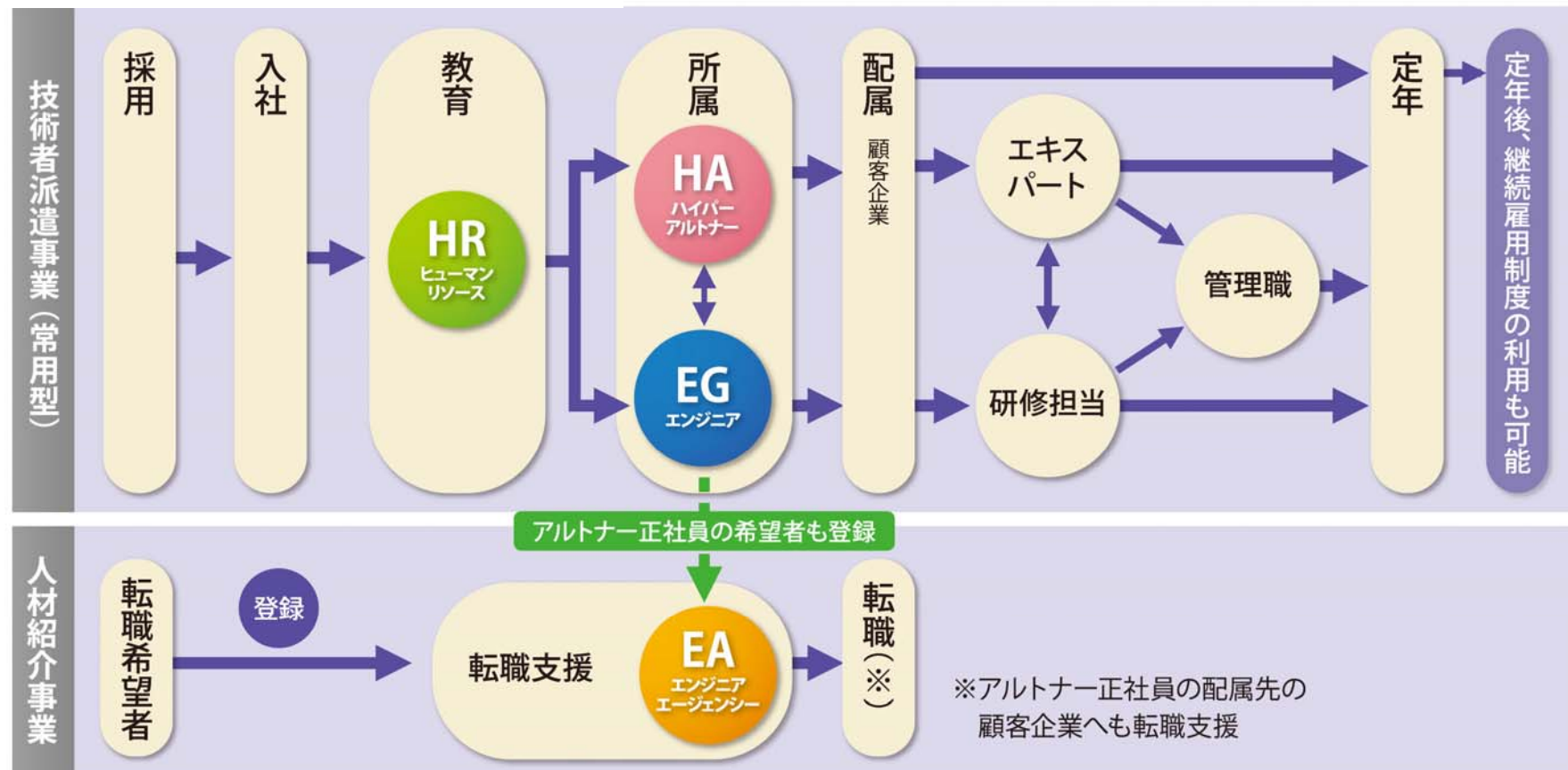
**エンジニアエージェンシー事業部門**  
メーカーへの人材紹介、キャリア採用、新卒採用業務対応



**ヒューマンリソース事業部門**  
教育業務対応

## ■4事業部門の相関図、アルトナーのワンストップ体制

社内公募制度、人材紹介制度等の各種制度にて、  
4事業部門の連携を図る。



事業モデルを刷新し、リーマンショックからの  
本格回復を期し、更なるステージアップに挑む

より良い採用こそがすべての入り口

2013年2月より、4事業部門を設置

利益単価の向上

技術者数の回復

※利益単価 = 当社内で、独自に管理している技術者1人当たり、1時間当たりの単価に占める利益

<http://www.artner.co.jp/>

◆基本方針

事業モデルを刷新し、リーマンショックからの  
本格回復を期し、更なるステージアップに挑む

◆目標設定の方針

現状の技術者の質を維持しつつ、絶対数を増やしていくことが、  
当社のさらなる業績向上のためには不可欠。

◆基本目標

利益単価の向上

’18年1月期には、全社ベースで、’15年1月期比24%増を目指す。

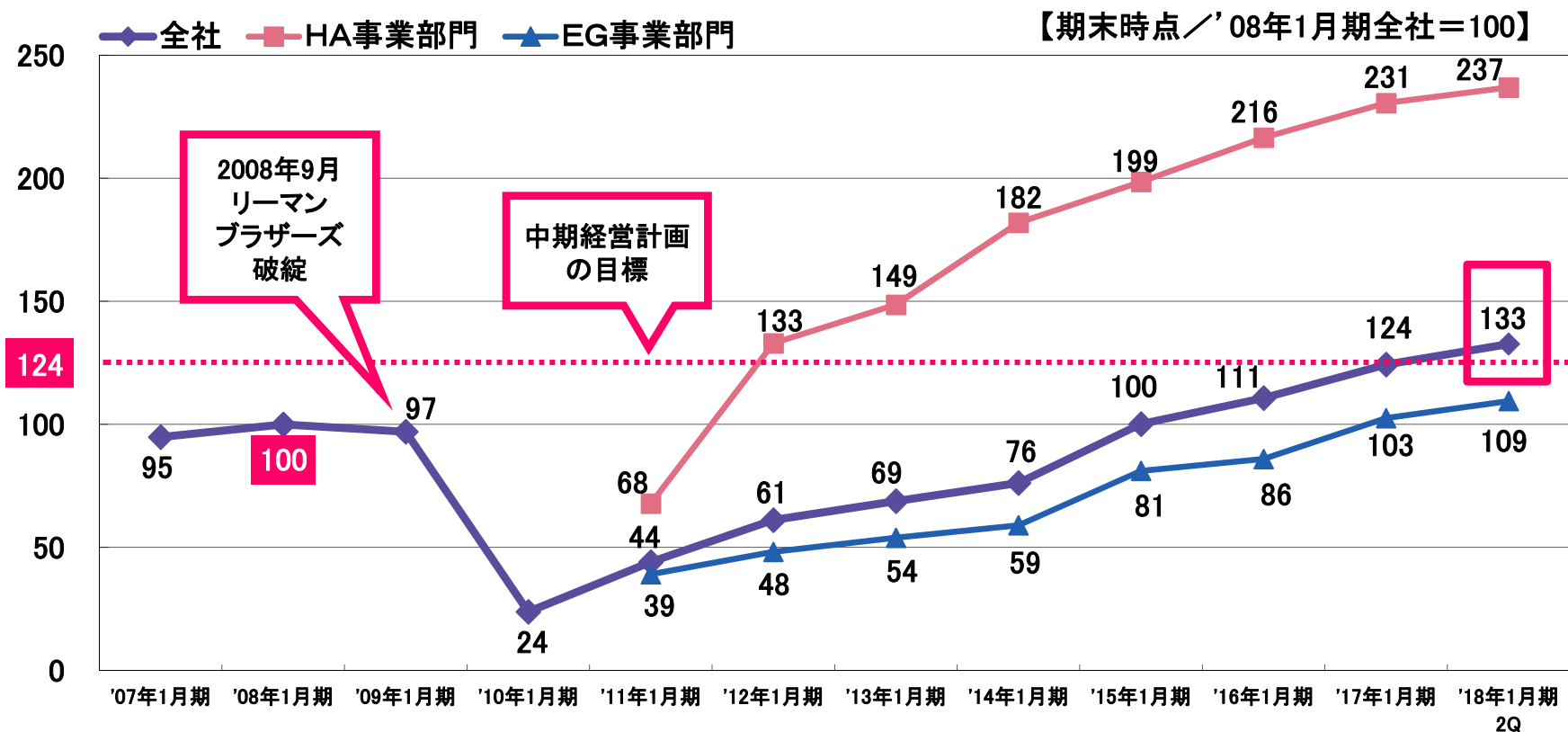
◆基本目標

技術者数の回復

新卒採用、キャリア採用、定着率向上により、’18年1月期には、  
リーマンショックでの減少前を上回る水準である800人規模を目指す。

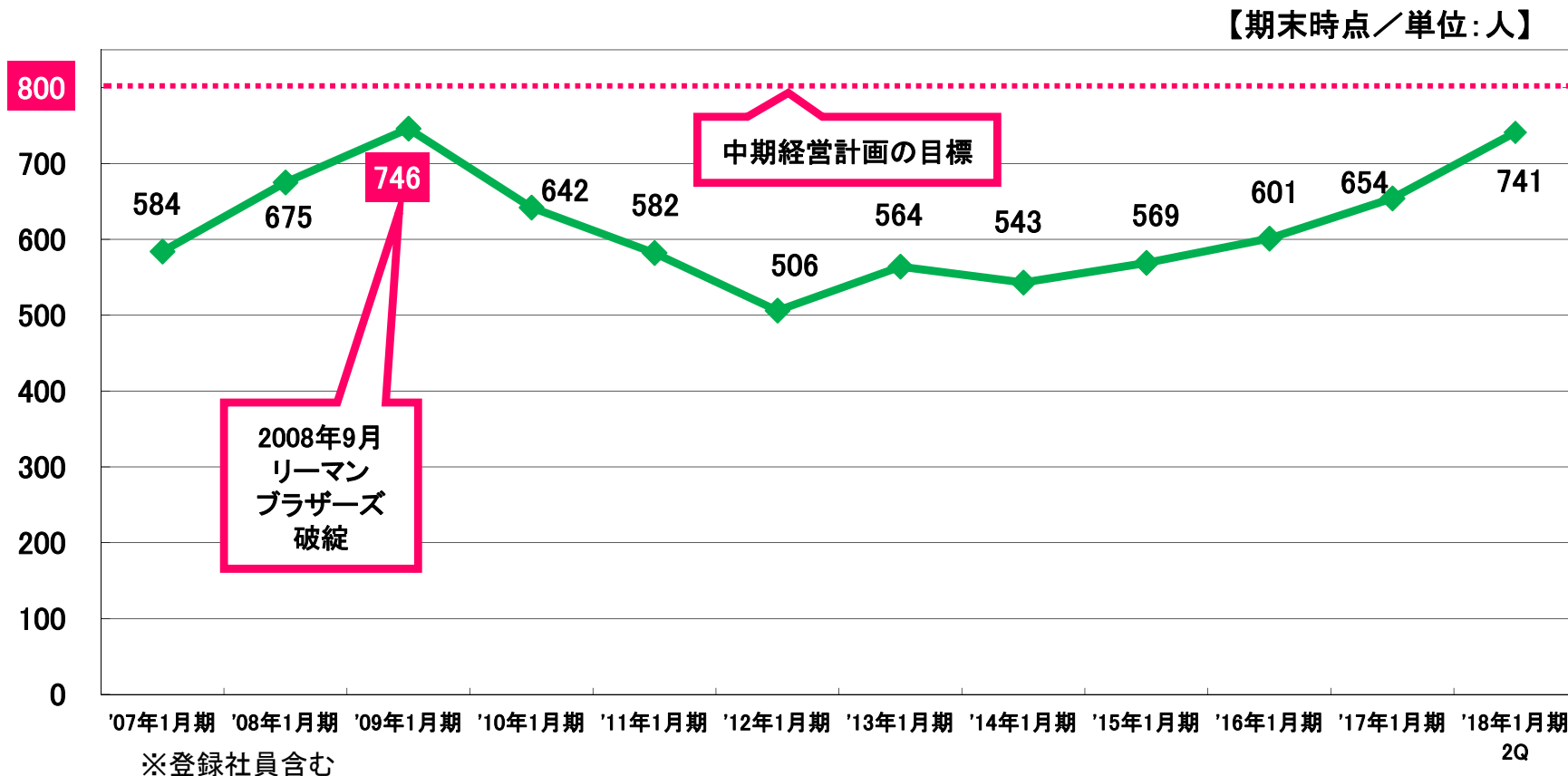
※利益単価 = 当社内で、独自に管理している技術者1人当たり、1時間当たりの単価に占める利益

’18年1月期 第2四半期末の利益単価は、全社ベース133となり、  
’18年1月期末の中期経営計画の目標数値124を上回る。



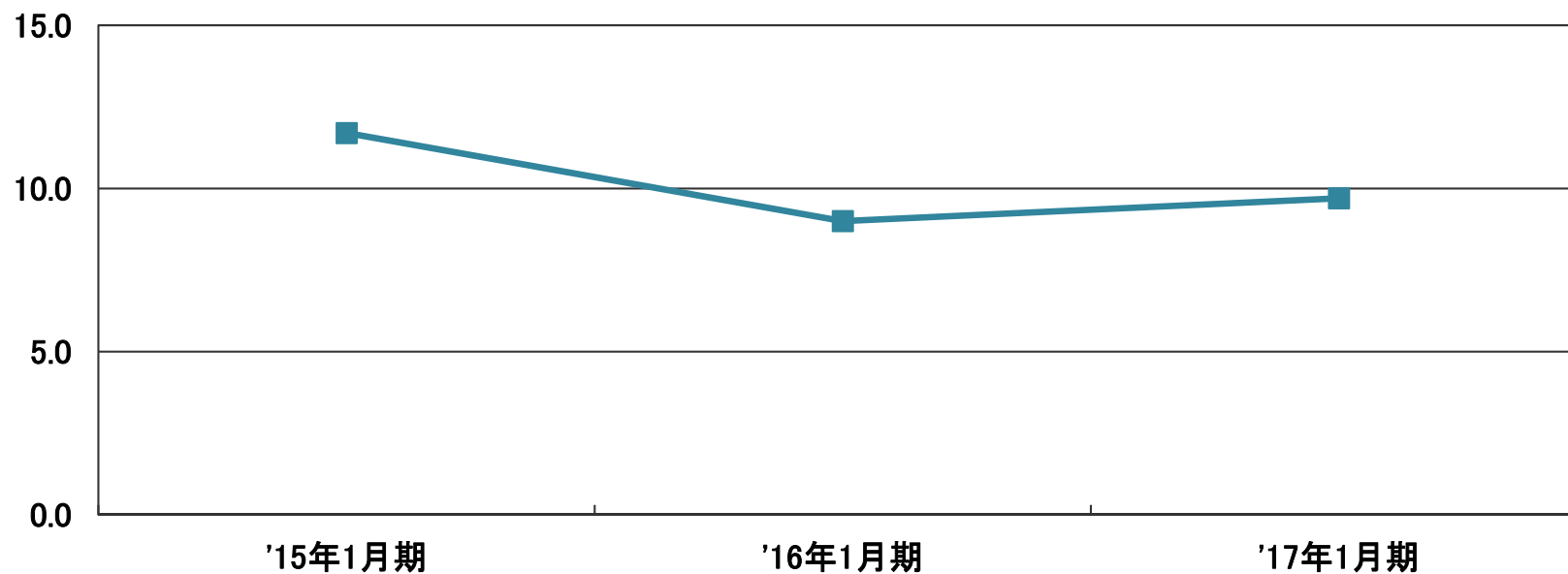


’18年1月期 第2四半期末の技術者数は、増加基調で推移。  
下期も、目標数値に近づけるため、キャリア採用等の努力を継続。



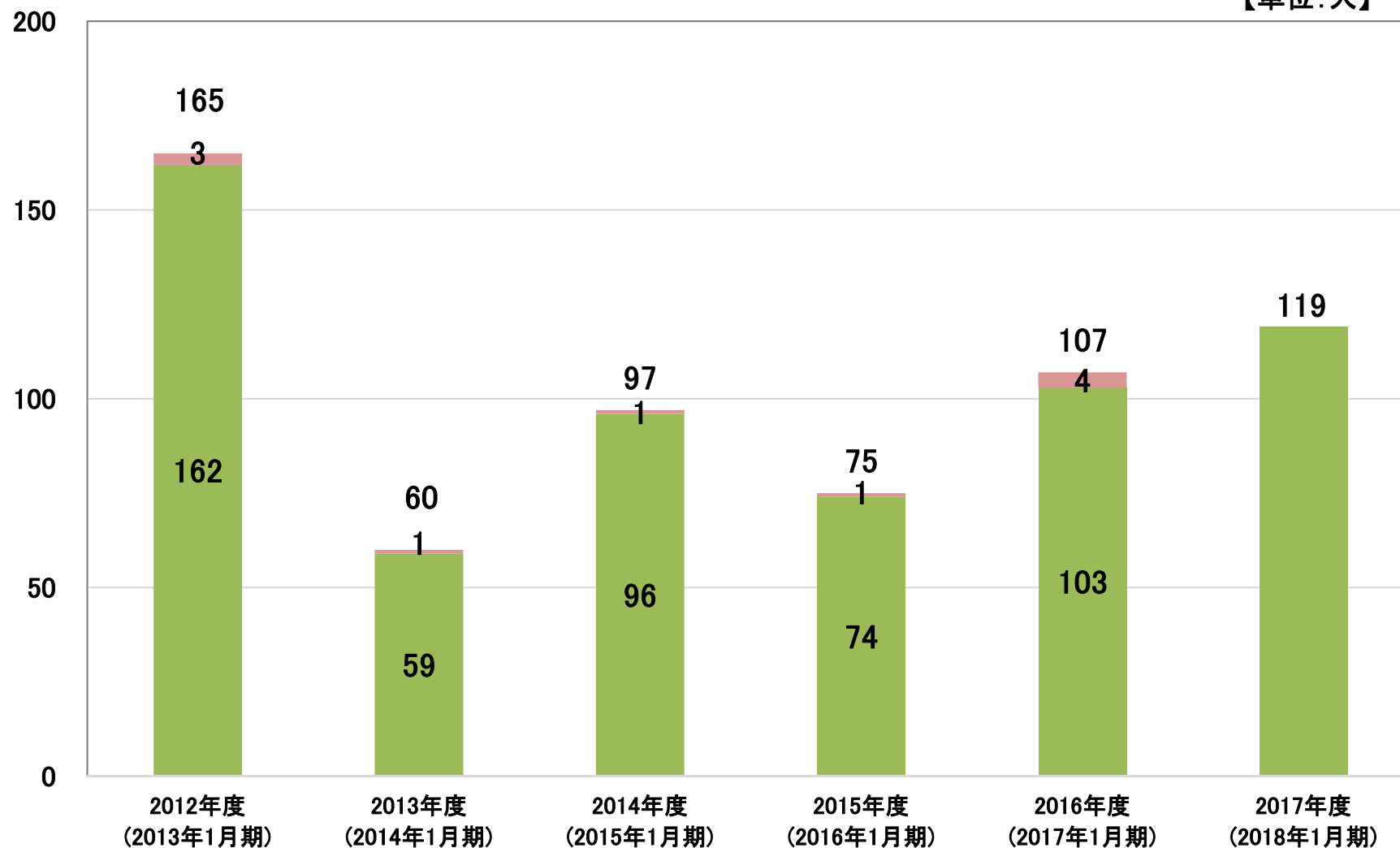
4事業部門を設置したことにより、離職率が低減。  
引き続き、技術者とのコミュニケーションに努めていく。

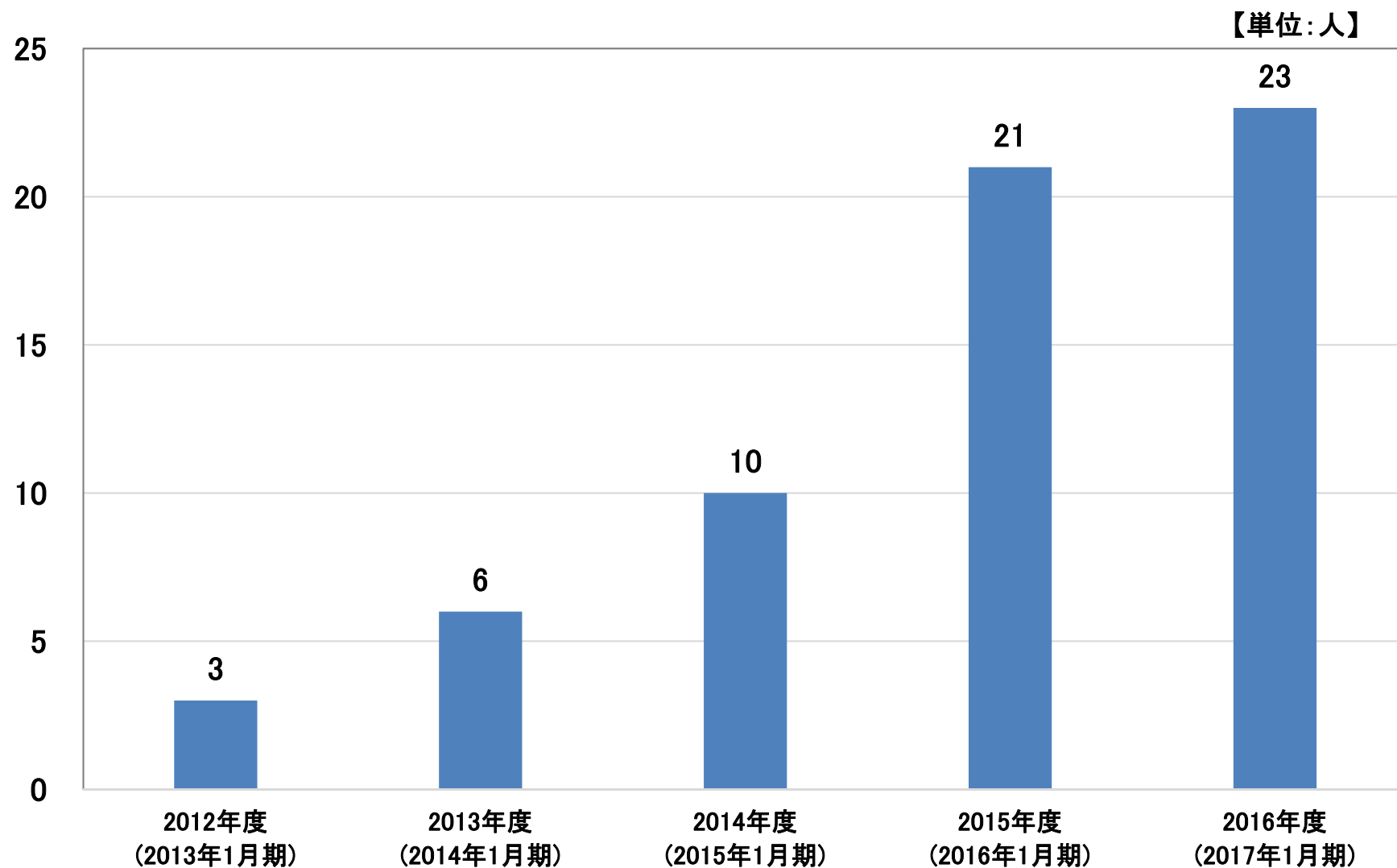
|     | '15年1月期<br>(%) | '16年1月期<br>(%) | '17年1月期<br>(%) |
|-----|----------------|----------------|----------------|
| 離職率 | 11.7           | 9.0            | 9.7            |



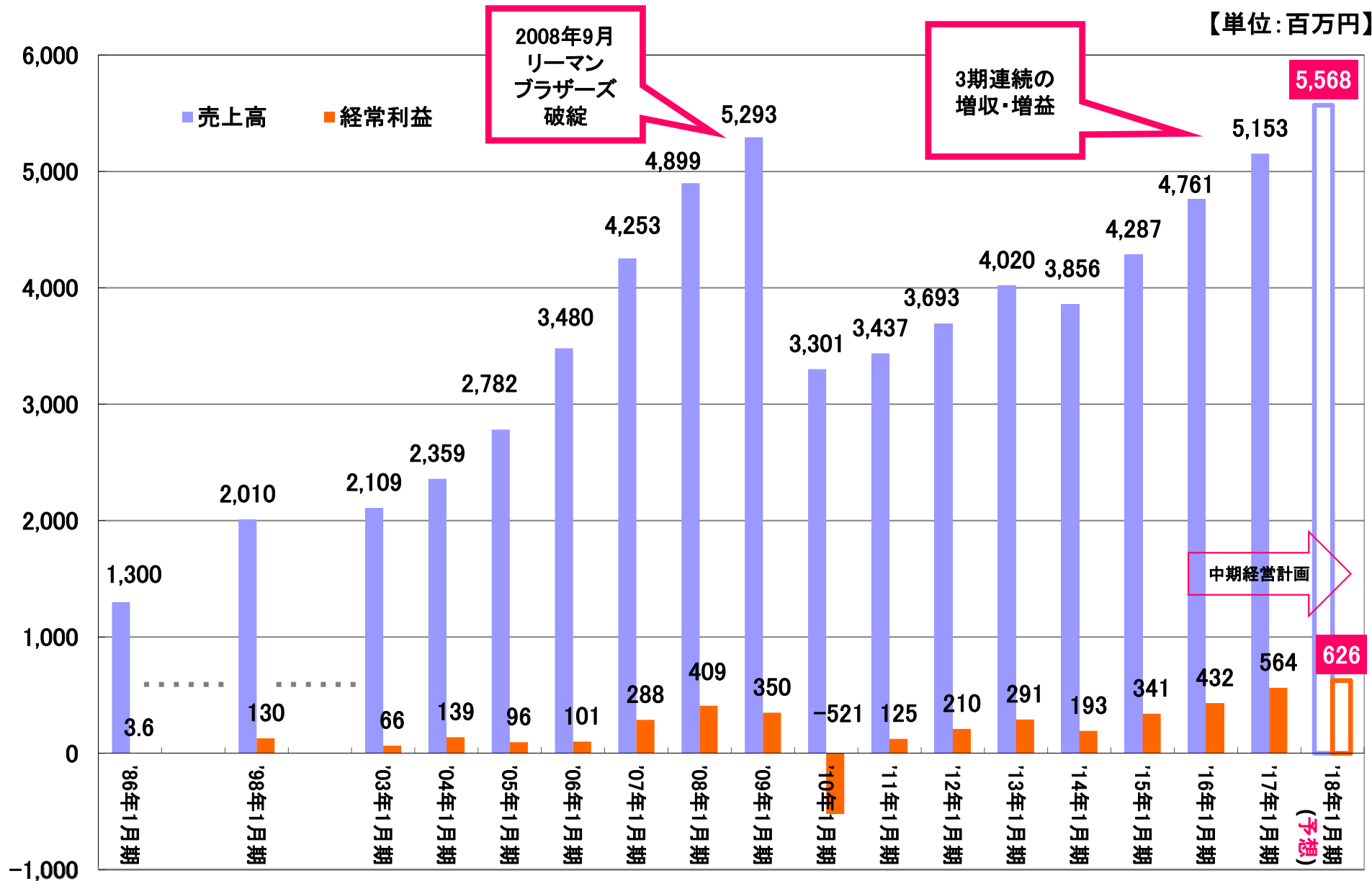
■ 4月入社 ■ 10月入社

【単位:人】

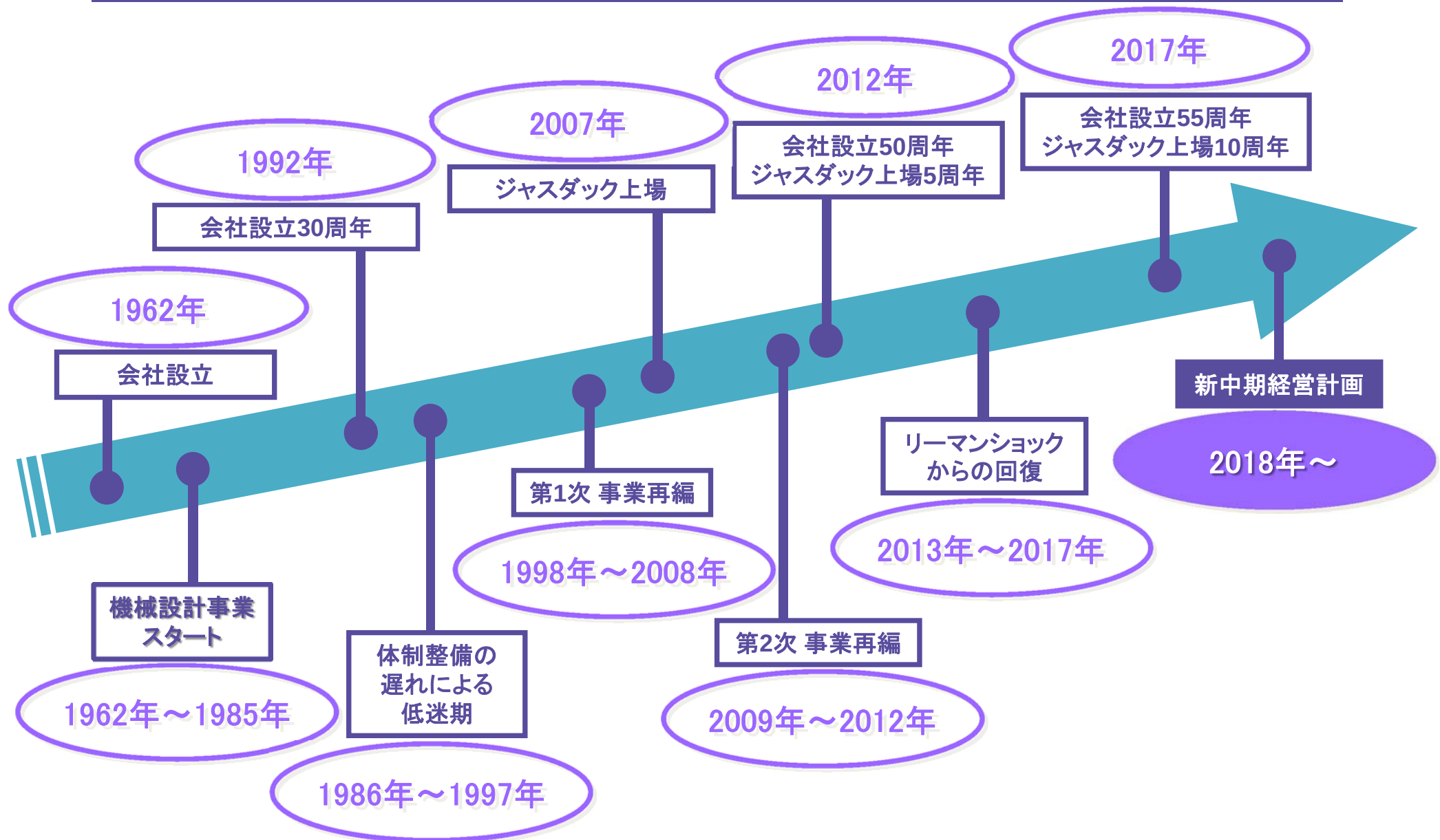




# ■売上高、経常利益 推移



<http://www.artner.co.jp/>



## セグメント戦略の推進

技術者派遣(専門人材サービス)事業から、  
請負・受託(技術サービス)事業へのウェイトシフト

「働き方改革」に順応した環境整備  
…「時短」「同一労働同一賃金」「ダイバーシティ」への対応 等々

少子高齢化に順応した事業モデル構築  
…「外国人労働者受入」「中高年齢者活用」「女性活躍社会」  
の為の体制整備 等々

多様化する顧客ニーズへの対応



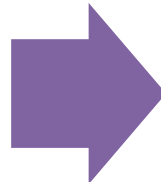


労働人口の減少により  
採用環境は、  
学生の売り手市場が続く



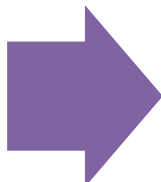
「学生に選ばれる企業」  
になるため、今後も学生の  
ニーズを最大限くみ取り、  
共感いただける体制を構築

顧客企業から研究開発、  
上流工程のプロジェクトへの  
要請が拡大



工学部の学生にプラスして、  
数学、物理を専攻した  
理学部の学生に枠を広げ、  
採用を強化

採用活動の補完的な施策



関東、中部、関西以外の  
エリアの配属先の確保の  
ため、顧客開拓を強化

## I 会社概要

## II 沿革

## → III 第56期('18年1月期)第2四半期決算概要

## IV 第56期('18年1月期)業績予想、配当予想

## V 参考資料

## ◆市場環境

輸送用機器分野において、完成品である自動車を中心に、

- ・自動車に搭載される様々な自動車部品
- ・先進安全自動車に関連するシステム開発
- ・自動運転の実現に向けた道路のIoTを含むインフラ整備等

に関わる技術者要請が好調。

## ◆売上高

技術者派遣事業において、2017年4月に前年を上回る新卒技術者が入社し、計画より前倒し配属進捗により、稼働人員が前年同期を上回る。また、技術者単価が、前年同期を上回ったことにより増収。

## ◆利益面

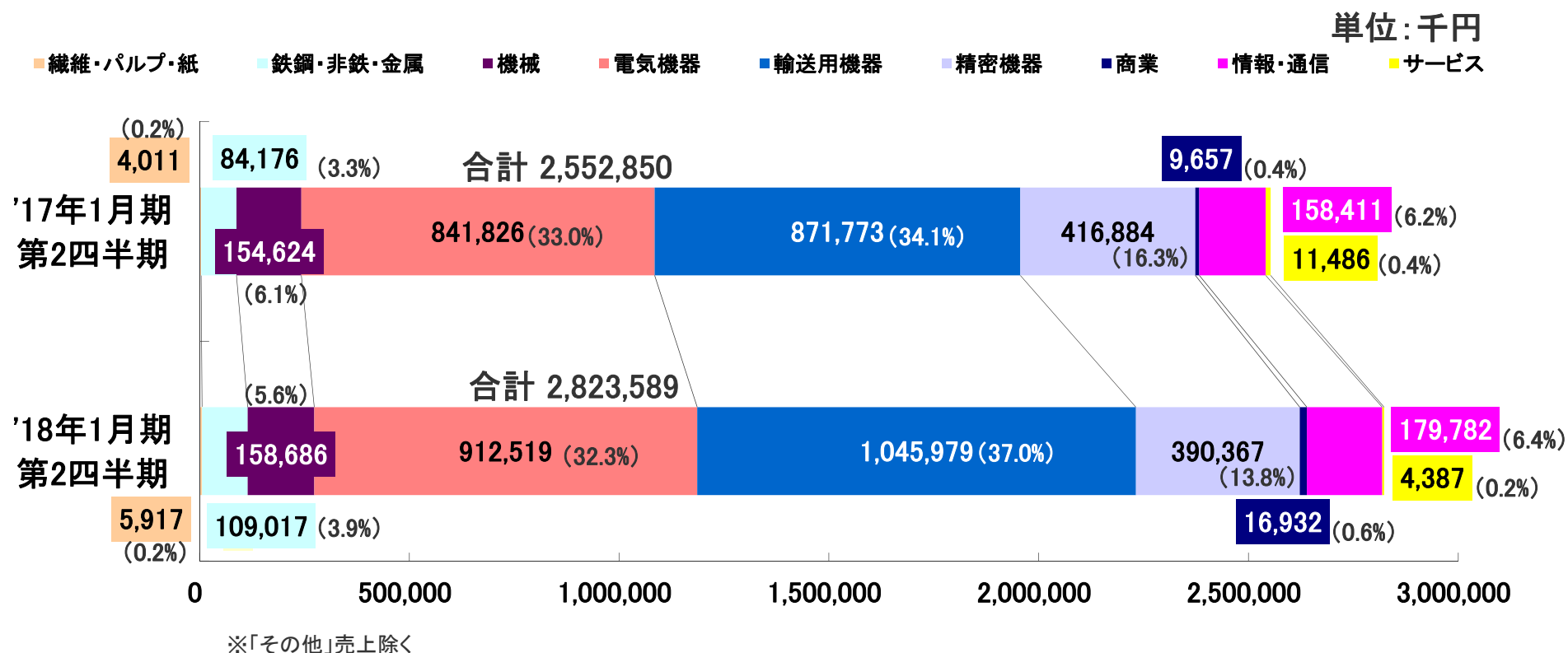
売上高の増加に加え、稼働率が高水準で推移した影響もあり増益。

売上高は前年増減率10.4%増、営業利益は22.2%増、  
経常利益は21.6%増、四半期純利益は28.6%増。営業利益率は12.9%。

|        | '17年1月期<br>第2四半期 |            | '18年1月期<br>第2四半期 |            | 前年<br>増減値<br>(千円) | 前年<br>増減率<br>(%) |
|--------|------------------|------------|------------------|------------|-------------------|------------------|
|        | 実績<br>(千円)       | 百分比<br>(%) | 実績<br>(千円)       | 百分比<br>(%) |                   |                  |
| 売上高    | 2,563,059        | 100.0      | 2,829,370        | 100.0      | 266,311           | 10.4             |
| 売上原価   | 1,638,100        | 63.9       | 1,758,170        | 62.1       | 120,070           | 7.3              |
| 売上総利益  | 924,959          | 36.1       | 1,071,199        | 37.9       | 146,240           | 15.8             |
| 販管費    | 625,979          | 24.4       | 705,820          | 24.9       | 79,841            | 12.8             |
| 営業利益   | 298,979          | 11.7       | 365,379          | 12.9       | 66,399            | 22.2             |
| 経常利益   | 305,195          | 11.9       | 371,240          | 13.1       | 66,044            | 21.6             |
| 四半期純利益 | 199,408          | 7.8        | 256,523          | 9.1        | 57,115            | 28.6             |

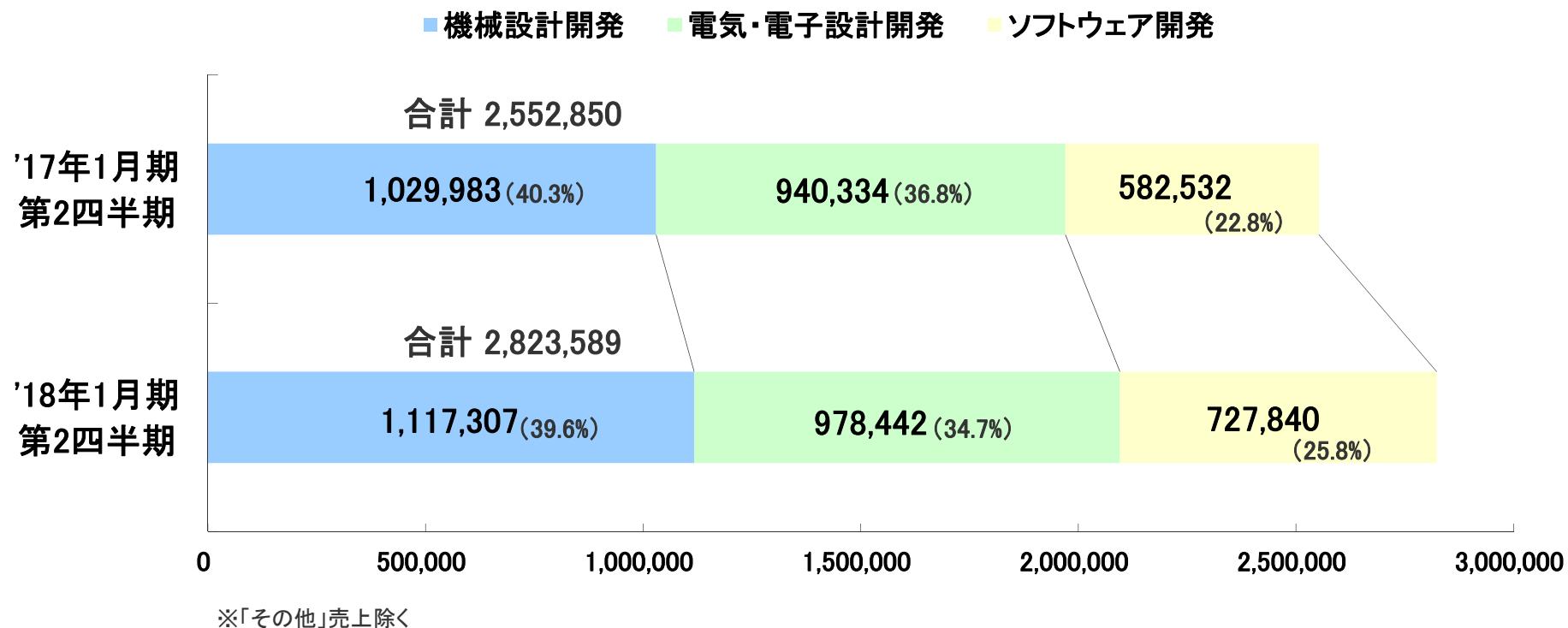
# ■第56期（'18年1月期） 第2四半期決算概要 業種別 売上高

電気機器は前年増減率 8.4%増、輸送用機器は 20.0%増、  
精密機器は 6.4%減、情報・通信は 13.5%増。



■機械設計開発、■電気・電子設計開発は、前年増減率8.5%増、4.1%増。■ソフトウェア開発は、大きく伸びて24.9%増。

単位：千円



## I 会社概要

## II 沿革

## III 第56期（'18年1月期）第2四半期決算概要

## → IV 第56期（'18年1月期）業績予想、配当予想

## V 参考資料



◆第2四半期実績の業績予想（通期）に対する進捗率

売上高50.8%、営業利益58.6%、経常利益59.3%、当期純利益59.5%。

◆業績予想（通期）

自動車関連業界やIoT業界が景気の牽引役となり、  
上期の増収・増益基調を継承し、通期も順調に推移すると予測。

|       | '18年1月期<br>第2四半期 |            | '18年1月期<br>通期 |            | '18年1月期<br>第2四半期 |            | 第2四半期<br>業績予想<br>進捗率<br>(%) | 通期<br>業績予想<br>進捗率<br>(%) |
|-------|------------------|------------|---------------|------------|------------------|------------|-----------------------------|--------------------------|
|       | 業績予想<br>(百万円)    | 百分比<br>(%) | 業績予想<br>(百万円) | 百分比<br>(%) | 実績<br>(百万円)      | 百分比<br>(%) |                             |                          |
| 売上高   | 2,715            | 100.0      | 5,568         | 100.0      | 2,829            | 100.0      | 104.2                       | 50.8                     |
| 営業利益  | 314              | 11.6       | 623           | 11.2       | 365              | 12.9       | 116.3                       | 58.6                     |
| 経常利益  | 315              | 11.6       | 626           | 11.3       | 371              | 13.1       | 117.5                       | 59.3                     |
| 当期純利益 | 217              | 8.0        | 431           | 7.7        | 256              | 9.1        | 118.0                       | 59.5                     |

今期の配当は、現時点での業績予想等を考慮し、1株当たり26円（中間配当13円、期末配当13円）を予定。  
（株式分割前換算52円で実質7円の増配。）配当性向は32.0%。

|                          | 年間配当金              |                    |                    | 配当利回り<br>(%) | 配当性向<br>(%) | 純資産<br>配当率<br>(DOE)<br>(%) |
|--------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------|-------------|----------------------------|
|                          | 第2四半期末             | 期末                 | 合計                 |              |             |                            |
| '17年1月期                  | 20円00銭             | 25円00銭             | 45円00銭             | 2.66         | 32.9        | 8.0                        |
| '18年1月期(予想)<br>(株式分割前換算) | 13円00銭<br>(26円00銭) | 13円00銭<br>(26円00銭) | 26円00銭<br>(52円00銭) | 1.97         | 32.0        | —                          |

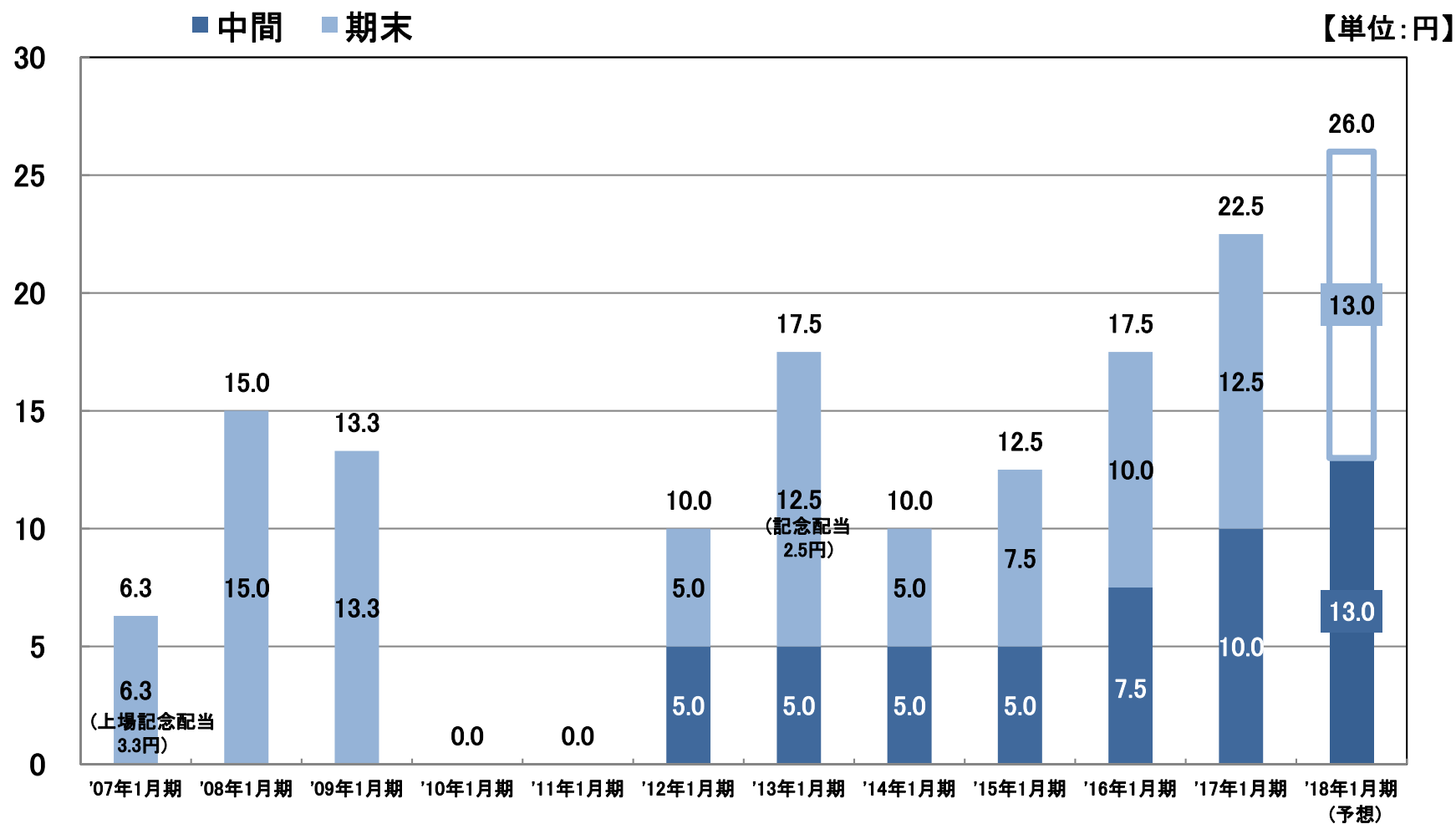
配当利回り(%) = 1株当たり個別配当金(合計)÷株価(期末/終値)×100

※'17年1月期 期末(2017年1月31日)終値…1,694円 / '18年1月期第2四半期 期末(2017年7月31日)終値…1,323円

当社は、2017年2月1日付をもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

'17年1月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

配当利回り(%)は実際の株価で算出しております。



※2007年6月22日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。

※2011年2月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。

※2017年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

当該株式分割に伴う影響を加味し、'17年1月期以前は、遡及修正を行った場合の「配当金」を表記しております。

I 会社概要

II 沿革

III 第56期（'18年1月期）第2四半期決算概要

IV 第56期（'18年1月期）業績予想、配当予想

→ V 参考資料

2013年4月1日施行 改正労働契約法「無期転換ルール」

同一の企業との間で、有期労働契約※①が反復更新されて通算5年を超えた時、労働者の申込みにより無期労働契約※②に転換されるルール。施行5年後の**2018年**4月1日より企業への申込みが見込まれる。

※①…期間の定めのある労働契約（契約社員、パートタイマー、アルバイト等） ※②…期間の定めのない労働契約（正社員等）



労働者と有期労働契約を結ぶ企業は、無期転換により、人件費アップの可能性もあるが、当社は、従来より、無期雇用(正社員雇用)のため影響なし。

2015年9月30日施行 改正労働者派遣法「派遣労働者個人単位の期間制限」

同一の有期雇用の派遣労働者を、派遣先の同一の組織単位に派遣できる期間は3年に制限される。施行3年後の**2018年**9月30日以降には、期限が来て、派遣終了となるケースが発生。(無期雇用は期間制限なし)



当社は、有期雇用ではなく、無期雇用(正社員雇用)であり、派遣可能期間に制限がないため影響なし。3年以上の継続的な派遣が可能。

### ◆労働基準法の改正の動き

労働基準法等を一括改正する「働き方改革関連法案」の国会への提出時期は来年と見込まれる。当初予定の2019年4月施行は不透明。

### ◆「特別条項付きの36協定」締結の場合の残業時間の上限の比較

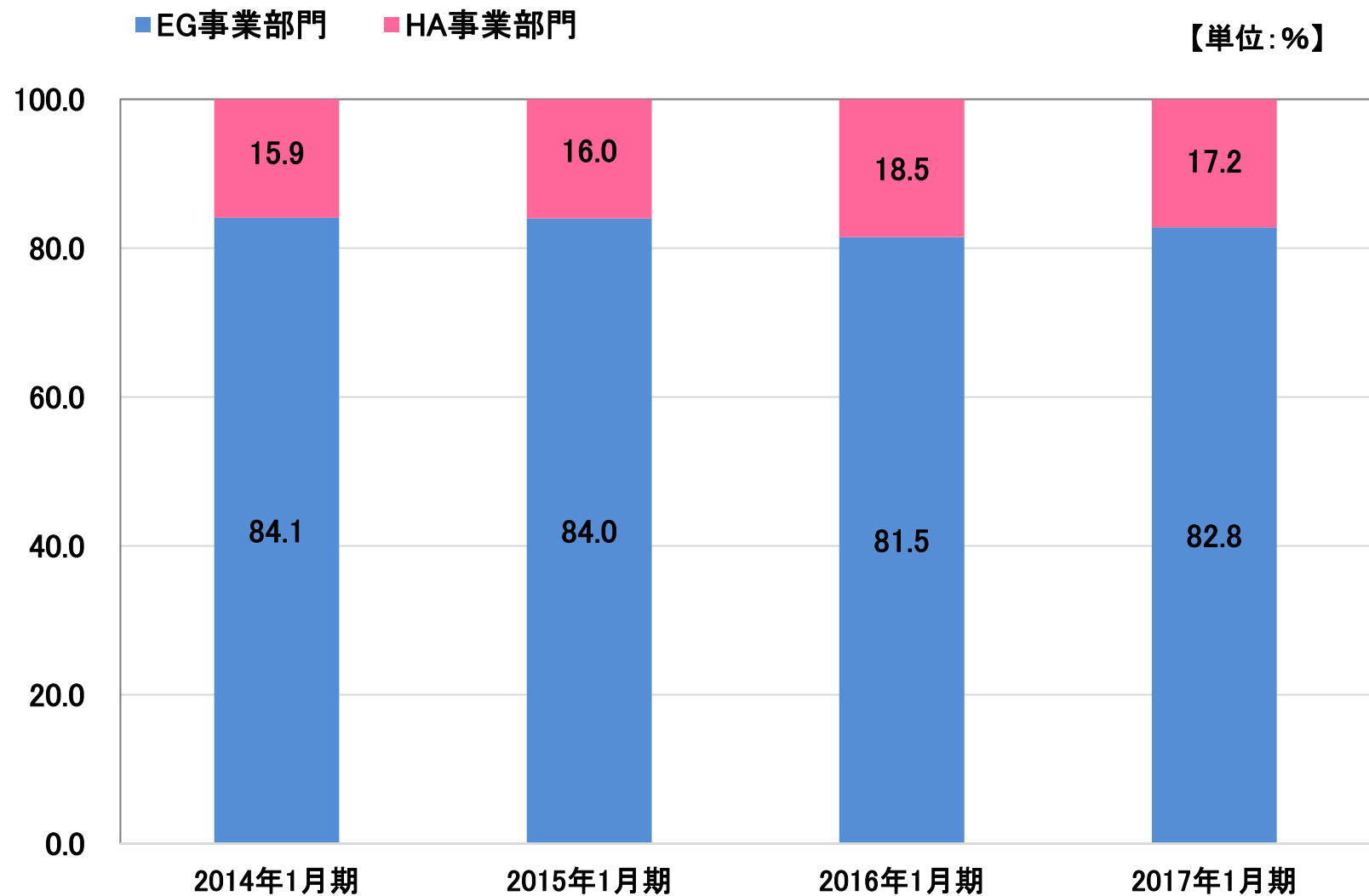
(2017年3月10日時点)

|     | 1か月          | 1年    |
|-----|--------------|-------|
| 現行  | 年間6か月までは制限なし |       |
| 改正案 | 60時間         | 720時間 |

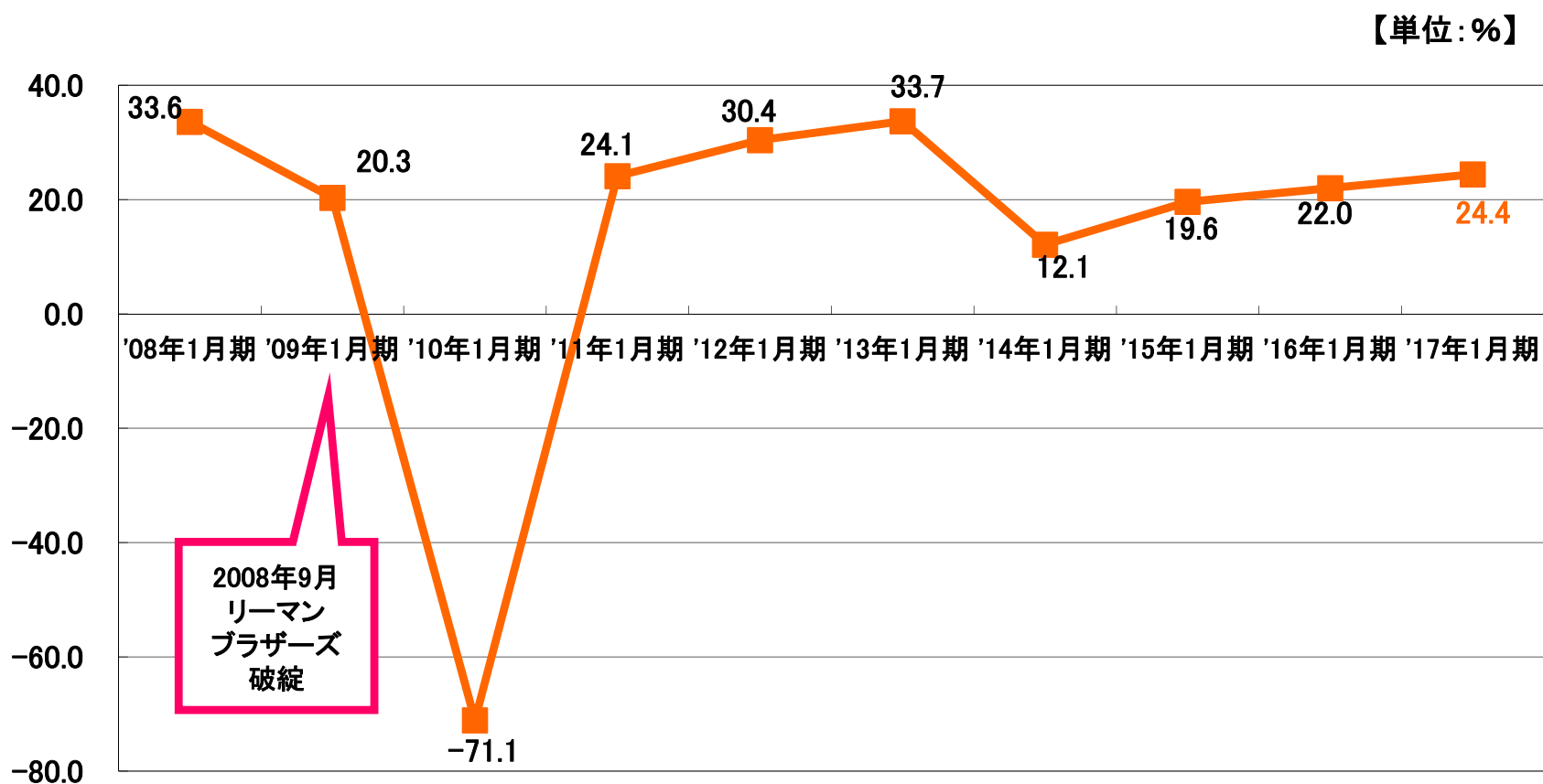
※繁忙期の上限特例は、「月100時間」となる可能性あり

- ・当社は、コンプライアンスを重視しており、上記の内容に基づき、労働基準法が改正された場合も、業績への影響はないと想定。
- ・顧客企業の残業抑制による外部人材活用の動きを注視し、当社の専門人材・技術サービス(派遣、請負・受託)を提案。

## ■技術者の構成比(EG事業部門：HA事業部門)

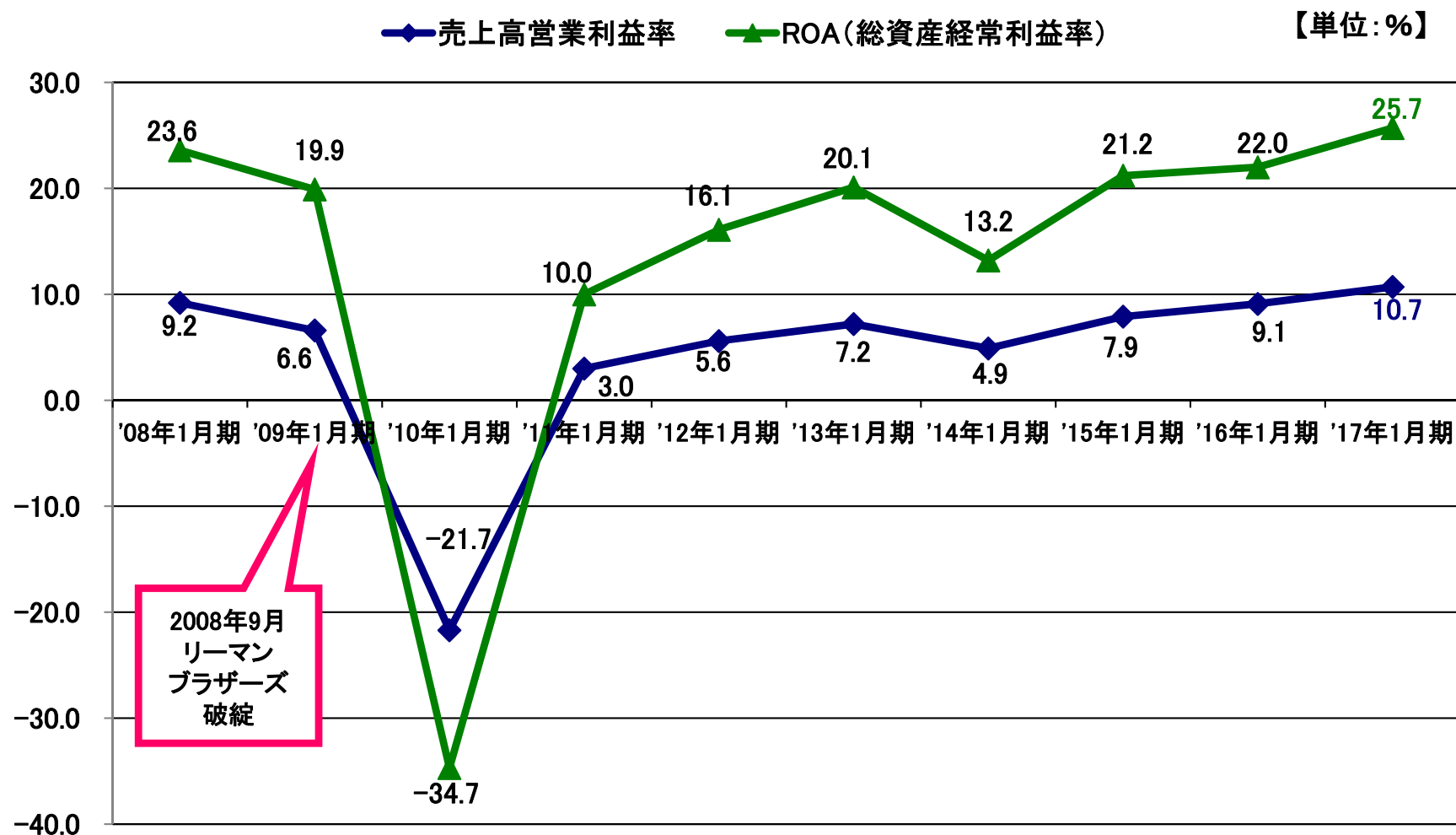


直近5力年平均…22.4%、'17年1月期…24.4%。  
より高水準を引き続き目指す。《参考》東証平均…8.53%(2016年度)

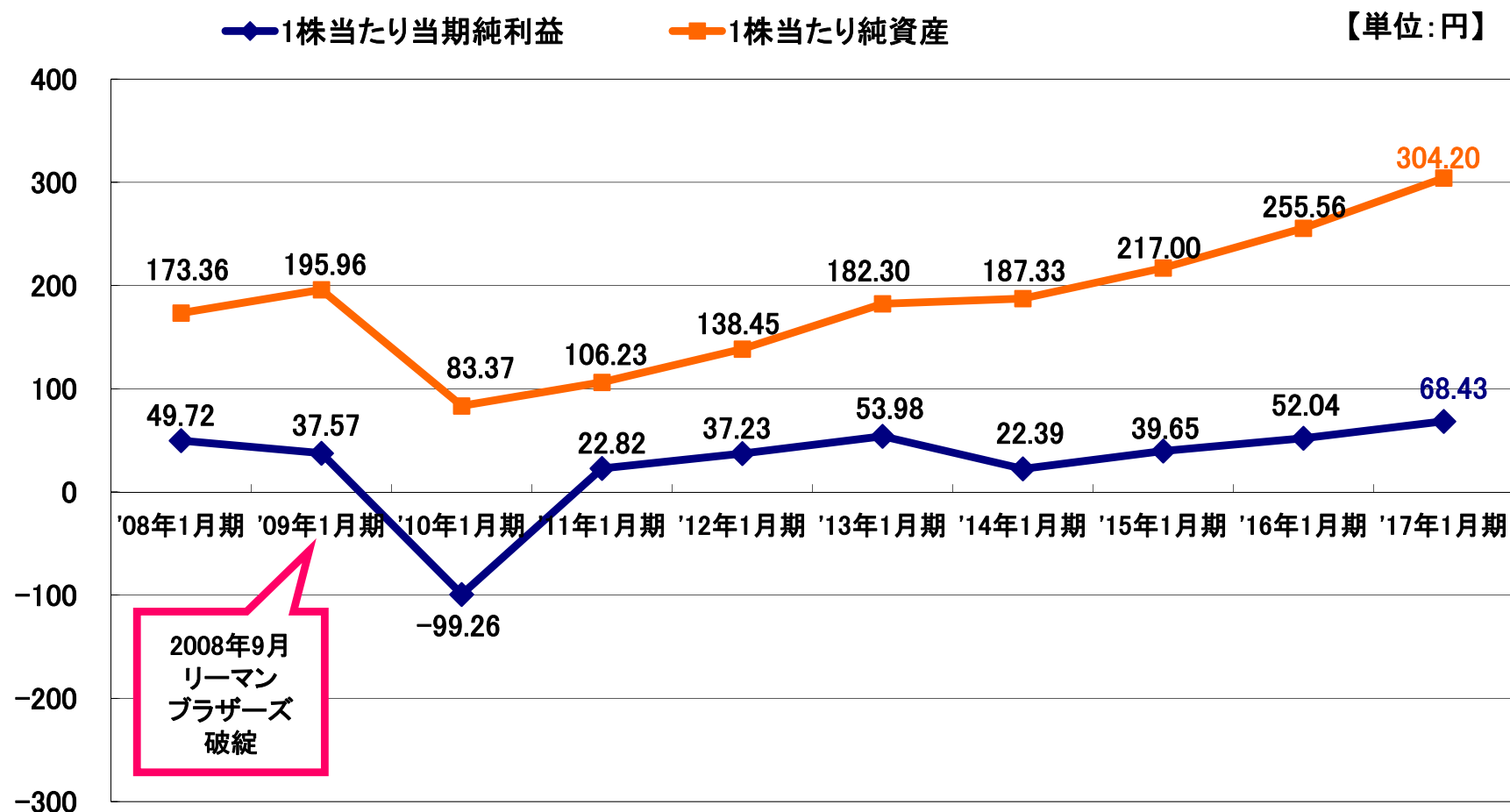




## ■売上高営業利益率、ROA(総資産経常利益率) 推移



## ■ 1株当たり当期純利益、1株当たり純資産 推移



※2007年6月22日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。

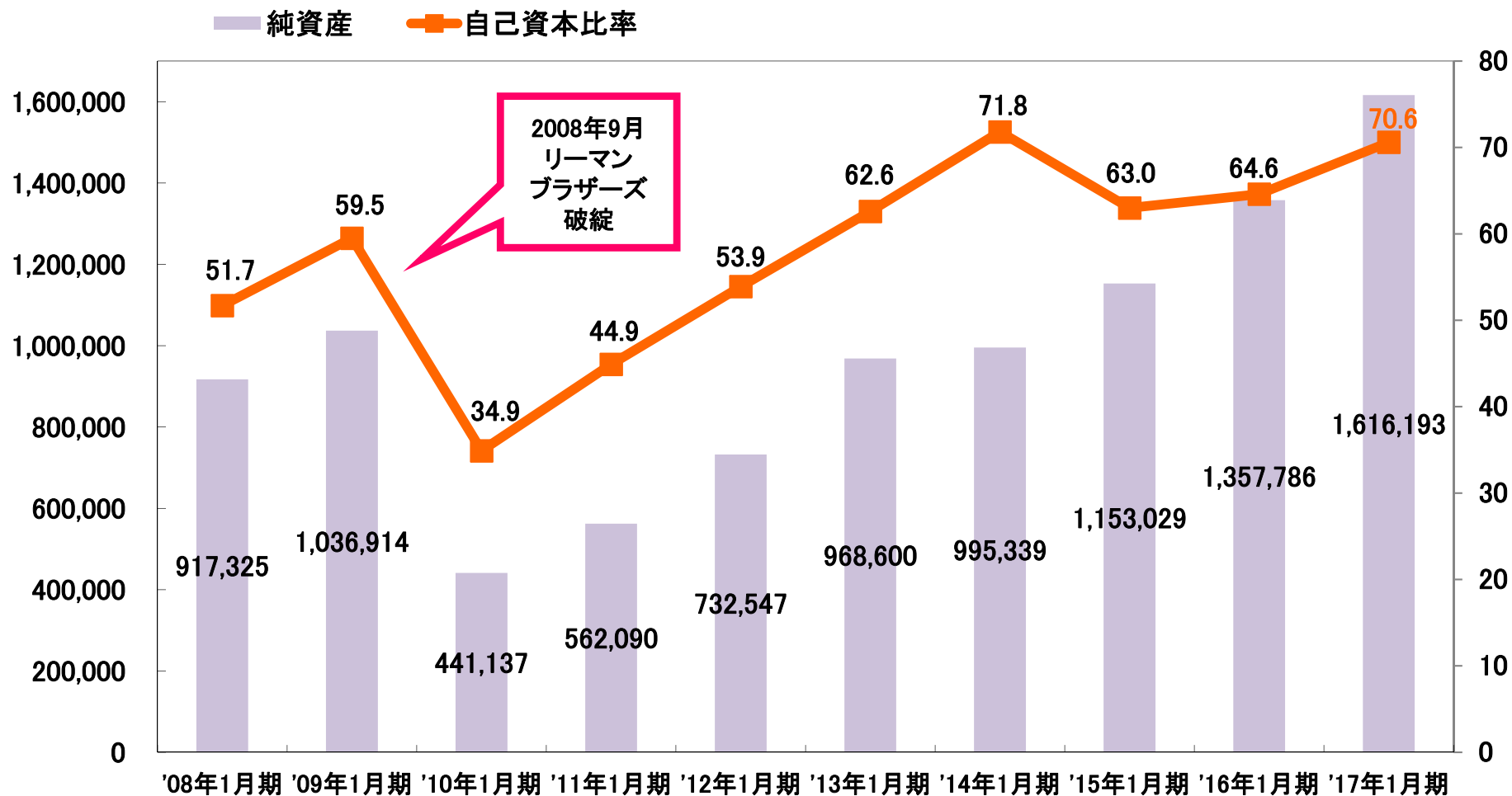
※2011年2月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。

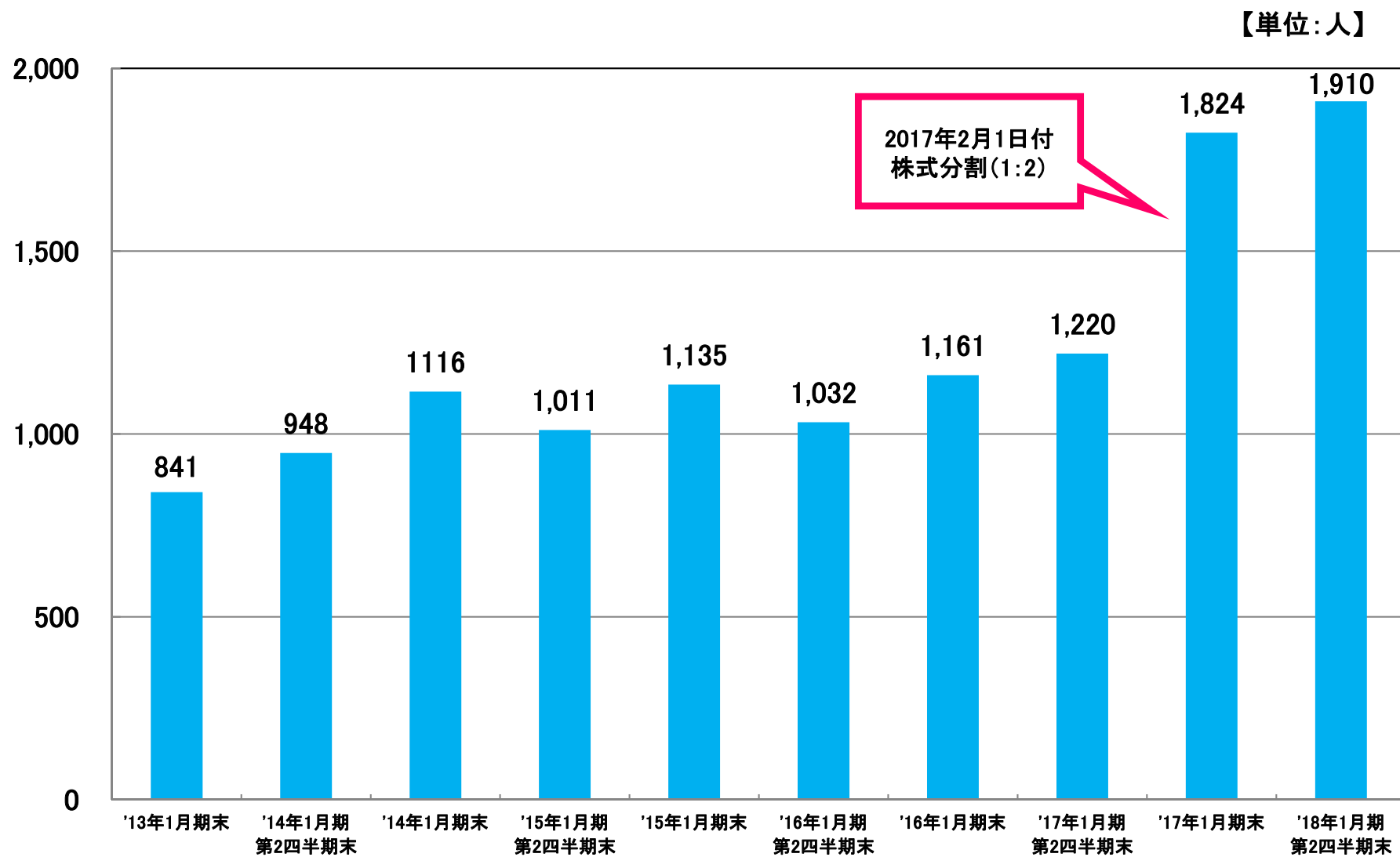
※2017年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

当該株式分割に伴う影響を加味し、'17年1月期以前は、遡及修正を行った場合の「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産」を表記しております。

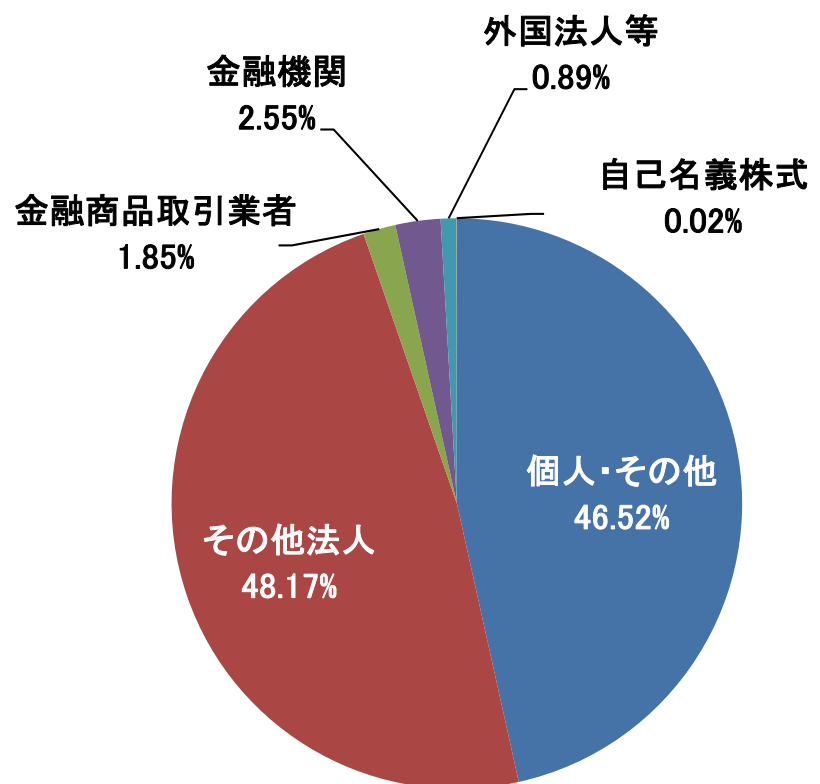
## ■純資産、自己資本比率 推移

【単位：千円、％】



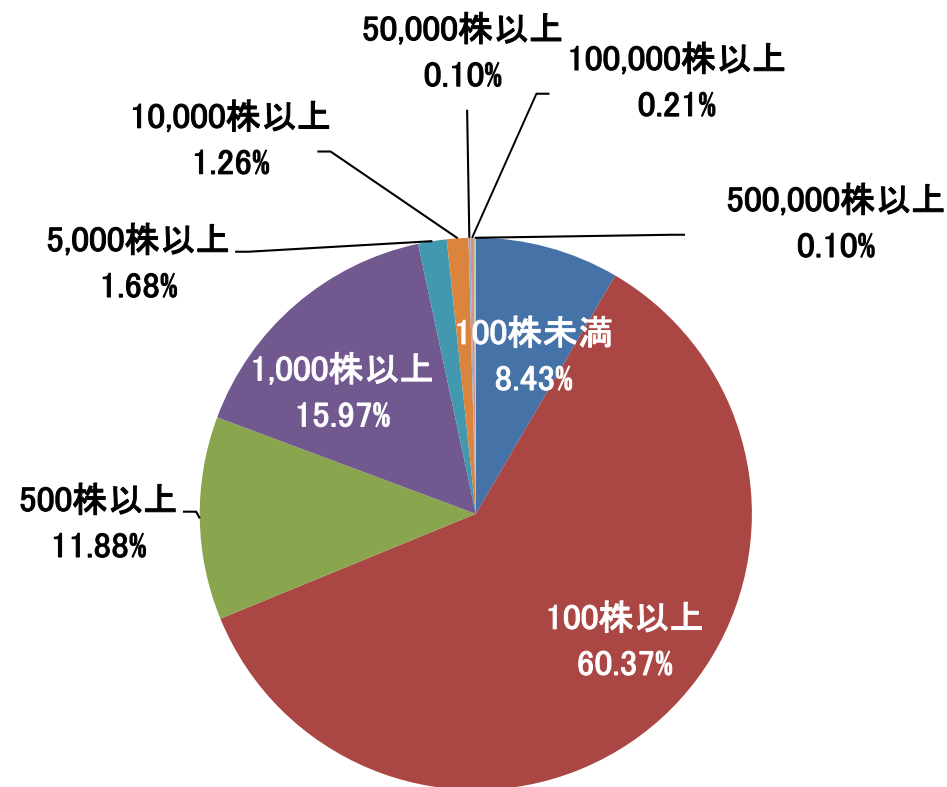


◆所有者別の株式分布

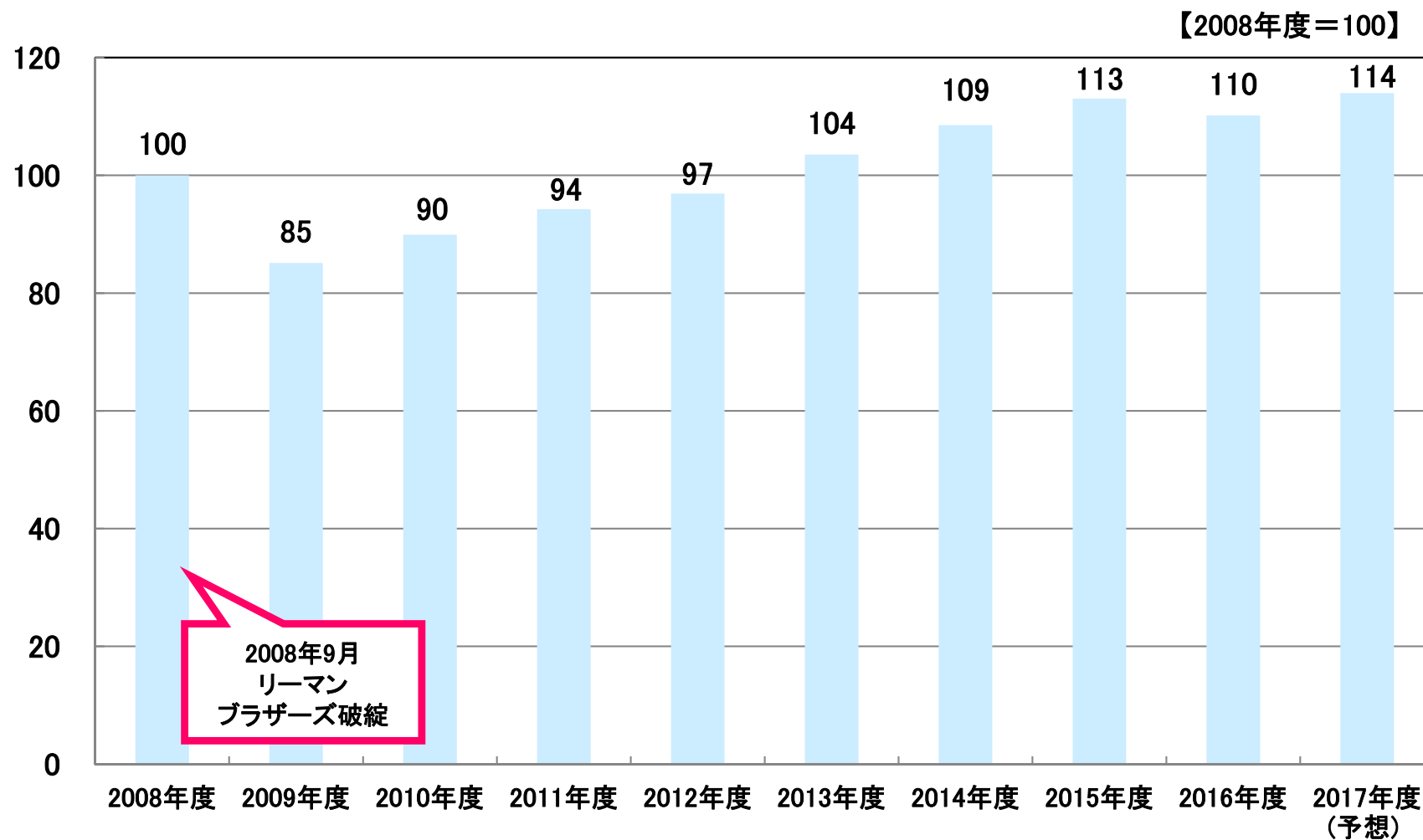


- 個人・その他
- その他法人
- 金融商品取引業者
- 金融機関
- 外国法人等
- 自己名義株式

◆所有株式数別の株主分布



- 100株未満
- 100株以上
- 500株以上
- 1,000株以上
- 5,000株以上
- 10,000株以上
- 50,000株以上
- 100,000株以上
- 500,000株以上



※2008年度の指数値を100として算出。

※3月決算の上場している顧客企業の開示資料より集計。

## ◆本資料のお取り扱い

- ・本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘する目的としたものではありません。
- ・本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的风险や不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来見通しとは乖離が生じる事がありますのでご承知ください。

## ◆お問い合わせ先

株式会社 アルトナー 経営戦略本部 IR・PRグループ  
TEL : 045 - 470 - 5663 ／ E-mail : [ir@artner.co.jp](mailto:ir@artner.co.jp)

## ◆IRメール配信 登録URL

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報」の最新情報を配信いたします(無料)。  
[登録URL] <http://www.artner.co.jp/ir/mail/>



## ◆YouTubeアルトナー公式チャンネル

当社のエンジニア・インタビュー動画を公開しております。  
当社WebサイトTopページのバナーよりご覧になってください。  
<http://www.artner.co.jp/>